

令和6年度 実績団体一覧

NO	団体名	NO	団体名	NO	団体名	NO	団体名
1	池尻こどもマラソン大会実行委員会	37	池ノ上イメージアップ推進協議会	73	大山みちおこし委員会	111	船橋小学校オヤジの会
2	池尻祭典会	38	池ノ上こどもとまちプロジェクト	74	上用賀一丁目まちづくり協議会	112	学び場いとをかし
3	NPO法人 花植え隊	39	世田谷伝統芸能に親しむ会	75	用賀地区安心・安全推進会	113	うなかふえ
4	三宿小おやじの会	40	代沢子育ておうえんだん	76	陽果会	114	喜多見わんわんパトロール隊
5	三宿町会 三梓会	41	代沢こども広場	77	アクティブチャイルドクラブふたこ	115	砧南グリーンズ
6	太子堂小学校おやじの会	42	代沢中町会	78	NPO法人せたがや水辺デザインネットワーク	116	野川ドッグエリアの会
7	地域安心安全 commons	43	世田谷代田SAP	79	お舟会	117	【ご当地】家族会
9	なかざとアシスト隊	44	おはなしかラフル	80	スマイルひろば	118	砧むらおばちゃん会議
10	三軒茶屋小学校PTA ASOBIBA	45	代田小おやじの会	81	瀬田町会	119	NPO煌めく返り花
11	若林クラブ	46	代田睦会	83	特定非営利活動法人玉川にエコタウンをつくる会	120	ハッピーリーフ
12	若林町会	47	東北沢睦会	84	TAMAGAWA BREW 事務局	121	上北沢小学校おやじの会
13	IBASHO	48	下北沢リンク・パーク実行委員会	85	二子玉川大山みちフェスティバル実行委員会	122	世田谷区立八幡山小学校おやじの会
14	駒沢給水塔風景資産保存会	49	NPO法人ジョイントT・M	86	ママ夢ラジオ世田谷	123	八幡山青年会
15	桜町会	50	健康ウェンズディ運営委員会	87	「こどもとわたし」元氣の日	124	親水テラス音楽会実行委員会
16	さくらっ子体験教室事務局	51	松原5・6丁目自治会	88	桜新町親和会	125	特定非営利活動法人 芦花公園花の丘友の会
17	世田谷区立桜小学校おやじの会	52	松原三・四丁目自治会	89	NPO法人 世田谷スポ・レクネット	126	芦花サポーターズ
18	松丘町会	53	松原二丁目町会	91	正しいラジオ体操普及隊	127	どんぐりのおうち
19	経堂アトリエ	55	明大前駅周辺地区街づくり協議会	92	東深沢小学校 おやじの会	128	烏山地域あいさつキャンペーン推進委員会
20	世田谷区立経堂小学校おやじの会	56	赤堤1丁目町会	93	東深沢中学校 おやじの会	129	給田小わんわんパトロール
21	桜丘1丁目町会レディス会運営委員会	57	赤堤に文化を！六所の森の会	94	東深沢町会	130	給田町会
22	桜丘小学校図書室開放運営委員会	58	特定非営利活動法人せたがやオルタナティブハウジングサポート	95	深沢・桜新町さくらフォーラム	131	桐の会
23	桜丘すこやか体操クラブ	59	奥沢地誌保存会	96	深沢ぎんなんまつり実行委員会	132	地域のきずな実行委員会
24	じゅんかんチャレンジ桜丘推進協議会	60	みかも保存会	97	みしまの森学舎 あいさつ運動推進委員会	133	チーム烏山音楽事業部
25	世田小地域ネット「いぶき」	61	ここからカフェ九品仏	98	みんなのコミュニティさくら	135	ユニバーサルデザインスタンプラリー実行委員会
26	特定非営利活動法人せたがや防災士会	62	子ども会少年団を育てる世田谷センター	99	祖師谷子ども健全育成の会		
27	特定非営利活動法人世田谷桜丘まちづくり	63	玉川田園調布防犯パトロール隊	100	一宮庵成城クラブ		
28	宮坂楽々倶楽部	64	尾山台小学校おやじの会	101	成城フラワーメイト		
29	タウンズエイト	65	尾山台中学校おやじの会	103	法人格 成城自治会		
30	世田谷ゴミ拾い研究所	66	おやまダイブ	104	希望丘小学校 とと会		
31	繋組	67	玉堤小コミュニティ	105	子ども広場実行委員会		
32	上馬東町会	68	等々力小学校おやじの会	106	「子どもぶんか村」発表会実行委員会		
33	グループippo	69	おでかけサポーターズ	107	総合型地域スポーツ/文化クラブちとふなコミュニティ		
34	小泉公園ふれあいフェスタ実行委員会	70	特定非営利活動法人ら・ら・ら	108	デ・バンデス		
35	梅丘1丁目町会	71	中町4・5丁目町会 防犯部	109	ページの会		
36	城山小学校オヤジの会	72	ペット防災せたがやネットワーク	110	船橋会		

令和 6 年度 実績報告書

No.1 団体名 池尻こどもマラソン大会実行委員会	事業名称 池尻こどもマラソン大会
補助金使用額 239, 639円	内 容 2月頃に、池尻小学校校庭や外周を使用し、池尻・三宿・多聞小学校の生徒または該当校の生徒と強いつながりのある小学生を対象に、マラソン大会を実施します。 長距離を走ることで、練習も含めて健康を保つ一助となります。 また、地元の人たちの連携の元に開催されることで、大人もこどもも地域の一員としての絆を深めることができます。 複数校での開催のため競い合いもできることから、仲間を応援する意識も多々見られ、活気ある大会となっています。
補助事業に要した経費 471, 931円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 近隣3校の児童200人以上が応募してくれて、各自が事前にマラソンの練習をするなど健康の一助となった。また、児童同士が競い合いつつも健闘を称え合う姿が見られた。3校の保護者や地域の大人が連携して大きな大会を開催できたことで、大人も子どもも地域での絆を深めることができた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 町会・自治会の方には事前にマラソン大会の概要を共有した上で、ご協力をお願いし、当日は交通規制へのご協力や応援へのご参加を頂いた。また、地域活動団体とも連携して活動し、子どもたちの思い出作りの活動を協力して担えた。

令和 6 年度 実績報告書

No.2 団体名 池尻祭輿会	事業名称 池尻お囃子こども教室
補助金使用額 83,574円	内 容 江戸里神楽の池戸祭囃子を伝えている若山社中門下の講師により江戸祭囃子を指導してもらい池尻お囃子こども教室の子供達に池尻稲荷神社祭礼・池尻児童館村まつり・青少年池尻地区委員会主催のこども餅つき大会で演奏する。
補助事業に要した経費 105,280円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 私たちの今年度の目標としていた、青少年池尻地区委員会主催のこども餅つき大会での演奏・池尻児童館のがやがや村まつりで、演奏ができた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 池尻小学校でお囃子の練習会を開催する為の練習会場の提供をしてもらっている。池尻児童館では子供たちにお囃子教室の案内をもらった。

令和 6 年度 実績報告書

No.3 団体名 NPO法人 花植え隊	事業名称 高齢者が生き生き暮らせるまちづくり
補助金使用額 145,986円	内 容 植栽や花の管理・水やりの作業を、通所者、町会・高齢者クラブ、保育園・幼稚園の園児や学校の生徒、PTA、その他の市民団体など多くの人々と共同で行うことにより、地域と交流を図り、暖かな繋がりを求めている。ニュースレター、チラシ等の発行、自治会掲示板での活動の案内を通じてこの活動の周知を広げると同時に、その拡大を目指す。年2回、春と秋に4箇所の高齢者施設地に花植え活動を行う。
補助事業に要した経費 270,786円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 年二回、四か所の高齢者施設の敷地内に花を植え、御利用者やスタッフ、他のボランティア団体の協力を得ながら、週一回の訪問による花の管理を実施した。年間を通じて花のある環境を提供し、同時に、施設の御利用者やスタッフ、周辺住民との交流を通じて繋がりを深めることを目指した。また、「世田谷みどり33」運動に協賛し、世田谷線沿線の花壇に花を植え、そのお世話をした。 二回のニュースレターを発行し、本活動の周知に努めた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（連携団体の主催する事業でチラシ等を配布し、説明した。また、昨年に引き続き「世田谷みどり33」運動の、街の緑化活動に協力、参加した。）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった C	その理由 連携団体の事業でチラシやニュースレターを配布したり、植栽時の協力を得たりしたが、その後の花の維持管理等、日常的・持続的な活動の連携までには至らなかった。

令和6年度 実績報告書

No.4 団体名 三宿小おやじの会	事業名称 地域の子供、住民がイベントを通して互いに協力し合い、地域の繁栄を目指す。
補助金使用額 144,912円	内 容 三宿小学校に在学中あるいは在学していた子供の父親を中心メンバーとして活動しています。今年度は年間を通して、活動を予定しています。具体的には、運動会後片付けやもちつき大会の手伝いを計画しており、8月には世田谷区が主催する「アドベンチャーin多摩川」では参加者といかだづくりをして実施日に子供を連れて参加します。太子堂神社の祭りでは太子堂2丁目大塚町会と連携を図り、共に子供みこしの引率や大人神輿の引率補助を行います。三宿小もちつき大会ではPTA・地元住民とともにもちつき運営を行います。令和5年度は初めて「三宿小花火大会」実施し、好評でした。今年度は参加対象を広げ、令和7年3月に「第2会三宿小学校花火大会」を実施し、毎年実施する予定です。
補助事業に要した経費 144,912円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 アドベンチャーイン多摩川は中止になりましたが、事前準備で子供たちとイカダを作り、事前練習もできました。他、三宿小学校在校生の親・OBの親が中心となり、学校や地域と連携を深め、例年通りの活動ができ、多くの子供に喜んでいただきました。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 学校行事や地域行事に積極的に関わり、学校や地域と連携を深めることができ、例年通りの活動で、多くの子供に喜んでいただけた。他、地域の方とも親交が図られた。

令和 6 年度 実績報告書

No.5 団体名 三宿町会 三粋会	事業名称 地域と人が繋がる継承と発展「温故知新」
補助金使用額 238,630円	内 容 11月ギンナン体験会は、近隣住民の皆様と三宿神社のギンナンを拾って、食べるまでの処理を行い参加者、スタッフの絆を深める。 6月と11月に三宿神社にて、地域の方々にフリーマーケットに出店して頂きます。
補助事業に要した経費 241,800円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 減少傾向にある町会恒例行事に、少しずつではあるが新しい参加者が増え、コロナ禍以前の活動も取り戻せたと実感している
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 以前よりも地域の若手に多く参加してもらえるようになったが、これは協力・連携団体との継続的な連携が実を結んだものと考えている。また、それらは今後の地域事業活性にも繋がっていくことを予感させている。

令和 6 年度 実績報告書

No.6 団体名 太子堂小学校おやじの会	事業名称 地域と子どもと保護者を繋ぎ、安全安心で心がふれあう太子堂の街づくりへ貢献！
補助金使用額 128,004円	内 容 太子堂小学校児童の保護者が中心となり、学校や地域との連携を深め、子どもと地域の安全に寄与する活動、子どもと保護者・地域の方々の交流のきっかけとなるイベントの開催を行う。 ・児童下校時、放課後時間帯のパトロール、交通安全活動 ・学校行事時の交通整理、周辺の安全確保などのサポート ・太子堂小学校児童と保護者そして地域の方々も参加できるイベントの企画・運営 ①9月のイベントは太子堂小学校の児童達を含む、地域の子ども、大人が参加できる、小学校校庭で開催する水てっぽうフェスを予定。暑い夏に地域の方々と保護者、そして子供を通じた懇親・交流を目的にしています。 ②12月のイベントはこちらも児童達や地域の未就学児を対象とした謎解きイベントを体育館で開催予定。児童達にクイズやミッションを与えて謎解きをしながら学校から脱出するイベント・太子堂地区委員会主催の地域行事への参加とサポート
補助事業に要した経費 182,562円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（青少年地区委員会の行事を通じて各町会の行事への参加・協力をした。 ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

青少年太子堂地区委員会主催の行事であるふれあいまつりの準備および当日運営や、太子堂こどもマラソン大会の太子堂5丁目町会が担当する「伴走者」におやじの会として協力し、町会と連携を図る良い機会となった。

令和 6 年度 実績報告書

No.7 団体名 地域安心安全コモンズ	事業名称 地域安心安全コモンズの地域防災イベント
補助金使用額 241, 080円	内 容 年に3回程度、この事業をイベントとして実施し、子どもから高齢者まで地域の住民に対し、防災担当者や専門家による講演会やワークショップを行い防災知識の普及や具体的な対策について学ぶ。また、防災体験ブースを設置し、地震体験装置や火災消火器の実演など、災害時の行動を体験できるようにする。その他、地元企業や防災関連事業者・地元町会・商店街に協力を得て地域全体で安心安全に取り組む事業とする。 【水かけまつり】 開催時期：7月下旬 開催場所：下馬こどものひろば公園 対象者：地域住民 イベント内容：給水ステーションの周知及び初期消火活動を兼ねたトライアルレースやバケツリレーなど防災訓練を兼ねたイベントを実施。 【秋祭り】 開催時期：10月 開催場所：松陰神社通りの商店街 対象者：地域住民 イベント内容：地域の防災設備の周知及びライブやワークショップを実施。 【防災なべフェス】 開催時期：2月 開催場所：若林公園 対象者 地域住民 イベント内容：若林公園内に設置されたベンチで鍋料理を作る。またマンホールトイレとの周知及び地震体験・煙中体験を実施。
補助事業に要した経費 270, 600円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 来場者が予想より多く来た。

他団体との協力・連携の方法

- ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
- ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
- ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
- ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
- ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
- ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
- ☐ その他（ ）

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

実行委員会形式で実施し、町会、商店会の役員に参加してもらえた。

令和 6 年度 実績報告書

No.9 団体名 なかざとアシスト隊	事業名称 世代を超えて体験を共有する化学反応プロジェクト
補助金使用額 244, 711円	内 容 ①新入生の給食配膳支援：先生以外にも関わる大人たちがいることを知り、安心してもらう。 ②手話講演・体験会：DVDの貸し出しによる啓蒙や、実際にろう者の方のお話を聞いたり、手話をやってみたり、地域で同じサインを交し合うことで共通の関わりを作る。 ③NAKAZATO Hiバッジ：子どもの挨拶判断の体験値を上げ、大人も互いに共有確認することで地域の防犯力UP・コミュニケーション力UPに役立てる。 ④中里おはなしの会：読み手の地域の方々と子どもたちを絵本でつなぎ、関わるの場を広げる。 ⑤地域の方々の作品展：世代を超えて参加・鑑賞いただける場の提供。 ⑥絵本作家の講演：巣立つ君たちへ。「命」「巣立」「親子の関係」など、世代を超えた共有の学びの場を提供。 ⑦卒業生による講演：未来の君たちへ。身近な先輩からのお話はリアルに心に響く。卒業生が地域の人材としてプールされる場につなげる。
補助事業に要した経費 249, 264円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 ①給食配膳ボランティアは、6年生の参加もあり監督でOK。 ②手話講習会の効果もあり、福祉教育の定番となり全学年への継承ができつつある ③NAKAZATO Hi バッジのコンセプトを改めて周知、多くの方々に利用いただけた。 ④中里おはなし会はプレから年間への定番化を果たす。読み手の大人と子どもとの交流が深まった。 ⑤地域の絆展覧会は、子どもたちの作品とコラボレーションすることで、大人と子どものそれぞれの関心・興味・交流が深まった。 ⑥講演会は昨年に続きアンコール。大人も子どもも自分と向き合うきっかけの時間となった。 ⑦キャリア未来デザイン教育として「ようこそ！先輩!!」がスタート。大好評で次につなげたい

他団体との協力・連携の方法

- ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
- ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
- ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
- ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
- ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
- ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
- ☒ その他（チラシを配布、常に情報共有してもらった。)

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

こちらのコンセプトに共感いただき、それぞれの立場で力を持ち寄って下さり、事業の実現に協力していただけた。気持ちが通じ合う大切さを学んだ。

令和 6 年度 実績報告書

No.10 団体名 三軒茶屋小学校PTA ASOBIBA	事業名称 ASOBIBA こどもたちの放課後を考える会
補助金使用額 94,799円	内 容 毎月、体育館を利用して、子供達を対象に居場所作りを行います。活動の見守りを保護者、町会さんに依頼。子供たちと顔を合わせることで街であった時に声をかけられる関係性を作りたいと思います。活動では運動遊びの達人を招き、鬼ごっこ・ダンス劇など子供たちが楽しく交流できるよう促します。9月「こども110番MAP巡りと地域清掃」親子で参加の活動ですが、町会さんなど地域の方にもご参加いただきます。こども110番の場所確認を行いながらゴミを拾い、地域の方、保護者、子供たちが顔合わせ交流する機会を設けます。10月「地域ハロウィンパレード」近くに住んでいても知る機会がなく、児童・地域の方の家が不明な現状です。ハロウィン活動では、近くに住む児童・地域の方の家を巡回し「同じ地域の家同士をつなげる」目的。未就学児の参加も促し、小学校へつながるパイプづくりをします。
補助事業に要した経費 107,799円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

C

その理由

イベントの参加もお誘いしましたがすべて実現ならず、一部のみとなった。

令和6年度 実績報告書

No.11 団体名 若林クラブ	事業名称 第9回若林クラブフェスティバル(若フェス)
補助金使用額 119,462円	内 容 2月に若林小学校の施設を会場に、若林クラブフェスティバルを実施します。よさこい鳴子おどり、チアダンス、太極拳等の動きを教えてもらい鑑賞もする。日本代表選手のもとセパタクローの体験。活動中の体調不良やケガなどの対応を学び、AEDについても知る機会を設ける。茶道教室での茶道体験、野球、サッカー、バスケットボールなどの体験ゲーム。お菓子や食品を釣るお楽しみつるぼりを行う。
補助事業に要した経費 188,225円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 とても寒い一日だったが、昨年度よりも参加者が増え、けが人もなく無事に開催できた。また、地域の方々やクラブ員と一緒に参加し楽しみながら若林クラブの活動を伝えることができた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（小学校・中学校全クラスでのチラシ配布。町会のweb回覧板にてチラシを掲載してもらった。 ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 町会や学校、その他の団体との協力関係は友好であり、今回の若フェスも含めて、お互いのイベントや行事などでも情報共有などの連携はできていた。

令和 6 年度 実績報告書

No.12 団体名 若林町会	事業名称 人と人とのつながり・絆を結び、地域力を増すための地域の絆連携強化推進事業
補助金使用額 73,345円	内 容 若林地域と周辺近隣と連携・交流・共助する”ネットワーク防災”活動をする。防災情報の発信と啓発を進め、地域防災力、対災力をさらに強化する。令和6年11月に若林公園で防災の専門家と連携し防災知識、技術の学びと演習の場を提供する。 令和7年1月に大学と連携し若林小学校において授業の一環として子どもの命を守る防災授業を実施する。
補助事業に要した経費 182,658円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 日程の変更はあったもののすべての事業が年度内に計画通り実施できました
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 近隣町会との防災交流が様々できるようになった。小学校児童の防災教育を通じて PTA、おやじの会、保護者に防災への関心を高めることができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.13 団体名 IBASHO	事業名称 つるまき・子どもの声ネットワーク
補助金使用額 192, 296円	内 容 子どもを核に地域の大人たちがつながり合い、育ち合える土壌をつくるために、小学校にひもづく「学校運営」「遊び場開放」「避難所運営」等の既存の組織体や、その他学区の団体や居場所等を横断し、年間を通じて小学校や鶴巻区民センター、その他で実施されるイベント等で、地域の子どもの子育て家庭およびそれを見守る人たちとともに、「子どもの声を聴く」「子どもの支援者の声を聴く」「子どものくやりたい」を支援する」「学び合える場をつくる」「声を共有し、行政へ届ける」といった実践を、おしゃべり会やみちあそび、防災イベント等で繰り返していきます。
補助事業に要した経費 212, 151円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B	その理由 予定していた講座などが調整かなわず変更となったり、子どもおよび子育て当事者の活動は計画どおりに進まないこともあるが、子どもの主体的な育ちを地域で見守り育む環境づくりの視点を見失わず、新たに地域課題として着目することとなった、学校の緑環境の風土づくりを含めた維持管理に対し、できることをやり続けることができた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（町会の方が来る会議などで情報共有等を行った。）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった B	その理由 タイミングや感染症などで計画通りに進められないことも多々ありますが、子どもの声に寄り添う伴走者とともに、常に子どもが主体として生きていきやすい環境づくりを目指して動けたことには満足です。

令和 6 年度 実績報告書

No.14 団体名 駒沢給水塔風景資産保存会	事業名称 駒沢給水塔を中核とした水道歴史遺産の保存活用
補助金使用額 199, 231円	内 容 年4回の新聞発行、地域のイベント参加を通じ、貴重な近代産業建築でもある駒沢給水塔とその周辺環境を未来に受け継いでいくべく活動している。また近隣小学校の児童には、事前が学習資料を配布し、東京水道局のご協力を得て、身近な風景と水道の関わりについて学べる構内見学の機会を設けている。さらに、応急給水拠点でもある駒沢給水所での訓練には地元の参加協力を促すなど、様々な角度から給水塔の存在意義の周知とともに、有形登録文化財の認定も視野に入れた講演会や、多摩川から給水所へのウォーキングや他の水道施設へのスタディツアーの企画なども行っていく。
補助事業に要した経費 218, 341円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 計画していた近隣小学校4校の構内見学を、各校ならびに水道局と調整し行った。「さくらまつり」「小泉公園フェスタ」「弦巻区民センターまつり」「ボロ市」への出店・出展で給水塔の周知やPRができた。「水道みちウォーキング」を催行した。連続セミナーについては、講師と会場の調整がつかず延期することとなった。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 近隣小学校の構内見学、地元イベントへの出店により駒沢給水塔の歴史や貴重な風景資産としての意義、会の存在についてもより周知することができた。

No.15 団体名 桜町会	事業名称 人と人が出会い、つながり、地域のコミュニティーの活性化を目指す
補助金使用額 114,558円	内 容 7月下旬：桜会館で、高齢者の運動不足や腰痛による外出不足を解消するため、体を動かす交流を目的とした「背骨コンディショニング」というテーマで、講演と実技を行う。10月中旬：桜会館で「トールペイント」。伝統工芸作品の制作を通じて、近隣住民と顔見知りになり相互の絆を深めていく。12月：「親子の防災」桜木中学校にて乳児から小学生の親子と共に防災の知識を習得します。子供の命を守るために必要な防災意識を講演会で習得し、参加親子が共通の防火防災をきっかけに相互の共助関係が構築していく。キッズスペースも準備。
補助事業に要した経費 143,172円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 7月27日(土)開催「背骨コンディショニング」 高齢者の運動不足や腰痛による外出不足の解消と運動を通じた人と人との交流を目的に「背骨コンディショニング」を実施。28名の方にご参加いただき、運動不足の解消や地域コミュニティに寄与した。なお実施日以降は月1回、有料講座として実施している。 10月19日(土)開催「トールペイント」 伝統工芸作品の制作を通じ、地域の人々の交流を図るため「トールペイント」(今回はトートバックとポーチどちらかを選択いただき絵付け)を実施。中学生から大人まで21名の方にご参加いただき、制作を通じて参加者間の交流を行うことができた。なお実施日以降は月1回、有料講座として実施している。 12月1日(日)開催「親子で楽しく学ぶ防災講座」 「子どもの命を守る」をテーマに親子で一緒に防災知識を学ぶとともに、共助(地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うこと)関係を築いていくことを目的とした「親子で楽しく学ぶ防災講座」を実施。36名(うち子どもが16名)の方にご参加いただいた。講座の際に実施したアンケートでは「防災についての知識不足を痛感し、勉強になった。子どものパーソナルカード※の作成や小銭の準備については、気づかなかった」等の回答をいただくとともに、大変良かったと評価をいただいた。 ※パーソナルカードとは家族構成が分かるカードで、家族で撮った写真などを貼った資料です。不明者の家族が写真で分かります。

他団体との協力・連携の方法

- ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
- ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
- ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
- ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
- ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
- ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
- ☒ その他（協力団体の施設掲示板にチラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ）

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

協力・連携いただいた団体が、チラシの回覧やポスターの掲示を実施いただいたことで、広範囲にわたって周知することができ、「トールペイント」においては、上町地区の中学生が掲示板を見て参加いただくなど、様々な世代の方々に参加いただくことができた。次年度以降はさらに多くの方に参加いただくため、協力・連携団体を増やしていきたい。

令和 6 年度 実績報告書

No.16 団体名 さくらっ子体験教室事務局	事業名称 さくらっ子体験教室
補助金使用額 22,360円	内 容 地域の方に講師やスタッフをお願いし、桜小学校の児童を対象に昨年度に引き続き、お手紙教室を実施します。今年度も人と人の繋がりをテーマにし、子どもたちにSNSでは味わえない講座を、低学年と高学年に分けて開催します。その際に、子どもたちは家族やお友達に想いを馳せ、優しい気持ちで作品に向き合います。その様子を地域の方々が触れることによって、大人も元気をもらいます。この交流をきっかけとして、地域をより活性化させていきたいと思います。
補助事業に要した経費 22,360円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった C	その理由 参加の告知方法を小学校のメール配信で行っていると、日々の学校連絡に埋没してしまい、親御さんに認知されていない可能性や、児童まで伝わっていないことも想定され、周知する手段を早々に検討するべきだったと猛省しています。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 お手紙教室1ではハガキの住所の書き方を説明していただいたり、作業する際に児童に寄り添って見守っていただくことで安心感を増すことができました。

令和 6 年度 実績報告書

No.17 団体名 世田谷区立桜小学校 おやじの会	事業名称 世田谷・桜 子どもたちと学校地域の連携事業
補助金使用額 130,850円	内 容 桜小学校在校生の保護者が中心となり、学校や地域と連携を深め、子どもと地域の安全のためになる活動やイベント開催を行う。 ・児童登校時の立哨、パトロール、交通安全活動 ・学校行事時の交通整理、周辺の安全確保 ・地域行事のサポート、児童の参加支援 ・災害時、地域の避難所となる学校での避難所設営や運営の訓練、支援 ・児童やその兄弟、地域住民を参加者に含めた交流イベントの開催
補助事業に要した経費 463,721円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 内容の変更や予定していた取り組みの一部中止はあったものの、年間を通じて活動し、一定の人出、反響、成果を得られた取り組みが多かった。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 多少の変更はあったものの、補助金事業については概ね予定通りに行うことができた。昨年度より、共催などの形で連携を深め、予定していた通りの協力・連携ができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.18 団体名 松丘町会	事業名称 地域コミュニティ活性化事業
補助金使用額 45,962円	内 容 ・子どもからお年寄りまで世代を超えて共に楽しみ健康維持していけるイベントとして、秋に桜小学校遊び場開放運営委員会と共催で「モルック大会」を開催する。 ・地域の子どもたちが松丘界隈を歩きながら多くの人と出会い、災害時に一時避難させてもらえる店舗や施設も知ってもらえるよう、3月に「子どもスタンプラリー」を開催する。
補助事業に要した経費 103,107円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 地域の多くの協力が得られ、広い年齢層の地域住民が交流することができた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（SNSでチラシを配信してもらった。 ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 協力をお願いした各団体・店舗に、快く協力してもらえた。農大ホッケー部の学生も、交通安全に協力してくれた。

令和 6 年度 実績報告書

No.19 団体名 経堂アトリエ	事業名称 ご近所大学経堂キャンパス
補助金使用額 145, 000円	内 容 誰もが先生・生徒となり、ご近所のように気軽に参加できる場として「ご近所大学経堂キャンパス」を掲げ、セミナー、ワークショップ、交流会等を通して地域のヒト、モノ、コトの資源活用、魅力アップを図ります。「ご近所大学経堂キャンパス」ではご近所の方が先生、又は生徒となり、ウクレレ教室、ステンドグラスワークショップ、英会話教室、自主映画上映会、絵画展覧会等を行い各回10名程度の参加を目指しています。又、春夏秋冬の季節ごとに各活動を一同に会する「フェスタ」を開催し、地域にも広く聞き交流を図ります。年度末には、1年を通した活動を記録した小冊子を作成し、ご近所の皆様に配布させていただきます。
補助事業に要した経費 255, 354円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 ご近所大学の各教室や各教室のみなさんが一堂に会する春夏秋冬4回のフェスタを開催し、地域の方々やその友人等、多世代の方が集う場になりました。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 各種イベントに地域の方々や団体の方にもご近所大学の先生や生徒として参加いただき、交流を深めることが出来ました。

令和 6 年度 実績報告書

No.20 団体名 世田谷区立経堂小学校おやじの会	事業名称 地域児童の豊かな精神育成と地域コミュニティとの更なる関係構築
補助金使用額 151, 450円	内 容 小学校、PTA、町会、商店街、まちあそびの会と連携し、目標1回／月のイベントを企画。 生き物にふれ、育て、命をいただく「どじょうつかみ取り」、清掃前の小学校プールからヤゴを救出する「ヤゴ救出大作戦」、季節感のある「盆踊り」、「ウォーターサバゲ」、「花火大会」、「ハロウィーン」、「クリスマス会」、「餅つき」、「豆まき」などを行う。 また、地域児童に非日常の体験を提供できるような事業や学校教育の補完となるような事業を行う。
補助事業に要した経費 452, 355円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 地域児童を対象とした体験活動や交流イベントを計画通りに実施することができた。地域住民や町会・商店街との協力体制も構築され、児童と地域コミュニティとの交流が深まった。これにより、児童の精神的な成長だけでなく、地域とのつながりも強化され、事業の目的を達成することができた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 町会や他の団体と連携を図り、行事の告知や運営協力、当日の見守りなど、多方面から支援を受けることができた。特にイベントの告知については町会の掲示等を活用することができ、近隣住民への周知が効果的に行えた。

令和 6 年度 実績報告書

No.21 団体名 桜丘1丁目町会レディス会運営委員会	事業名称 安心して暮らせるまちを目指して、顔見知りを増やそう
補助金使用額 86,471円	内 容 5月、8月、11月、2月の日曜日午後の2時間 デイホーム桜丘を会場として桜丘1丁目とその周辺の主に高齢女性を招待。前半1時間は講演会や講習会として参加型活動を毎回企画して孤立する住民がいなくなることを目指します。後半1時間は健康維持増進の為に講和、体操、歌そしてグループに分かれての茶話会で住民相互の交流を楽しみ、ふれあいポリスや桜丘小学校PTA会長による地域の最新情報の報告を聞いて社会のつながりを実感できるようにします。
補助事業に要した経費 90,751円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった A	その理由 絆の補助金のおかげで質の高い講師に依頼することが出来ました。そのため参加者の満足度が上がり、参加希望者が増え、充実した集まりとなってきています。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった A	その理由 桜丘 1 丁目町会から協賛金をいただき、会長副会長の参加を得、デイホーム桜丘は会場の提供に加え所長、看護師、社会福祉士の方々のお話しも聞け、世田谷警察署のふれあいポリスの存在や情報は参加者の大きな安心に繋がりました。

令和 6 年度 実績報告書

No.22 団体名 桜丘小学校図書室開放運営委員会	事業名称 桜丘小学校図書室開放
補助金使用額 125, 553円	内 容 桜丘小学校が休みの土曜日に校内の図書室を地域に開放します。在校生親子と普段は利用できない地域の親子（未就学児、他校の児童など）も利用できます。 ・月1～2回の図書室開放（桜丘小学校のホームページに開放日を載せています） ・読み聞かせや本の紹介、ゆったり読書タイム。 ・イベント実施（子ども向け）：本と音楽のイベント「にゃーご」、七夕イベント「短冊と笹飾り作り」、夏のイベント「金魚鉢かざり」、ハロウィンイベント「ハロウィン工作」、お正月イベント「お正月飾り作り」、本のしりとりにイベント「しおり作り」他 ※申込みが必要なイベントもあります。詳しくは桜丘小学校ホームページ掲載のプリント参照
補助事業に要した経費 131, 451円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった A	その理由 今年度は開放日を12回に絞りましたが、プログラムの工夫や宣伝で昨年度より参加者が増加しました。地域の子どもたちが集う場としてより一層定着してきたと思います。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（町会や地域の劇団の方に講師依頼、笹の提供協力、PTA行事に参加）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

町会の方や地域の劇団に講師として協力を仰いだことで新しいプログラムに挑戦できました。また PTA、もったいない屋さんとの共催のお店屋さんも地域の絆が深まりました。

令和6年度 実績報告書

No.23 団体名 桜丘すこやか体操クラブ	事業名称 レベルの高い楽しい音楽会と交流会
補助金使用額 93,635円	内 容 令和7年3月23日(日曜日)に桜丘中学校の音楽室を借りて、地域住民・中学生を対象にレベルの高い楽しい音楽会と交流会を開催予定です。特に遠出のできない高齢者は、毎年このレベルの高い楽しい音楽会を聴き、演奏後の交流会での楽しい話し合い等で、お互いの絆を深めています。更に、今回から、民生委員協議会とも連携して、孤独な高齢者をこの音楽会に誘い出し音楽を楽しんでもらうと同時に、人との絆・連携のきっかけにしていきたい。
補助事業に要した経費 93,635円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 毎年3月の音楽会と交流会が地域で知り合いを作るきっかけになり、且つ再会の場になっています。交流会では、講師と参加者が、何故先生は楽器でチェロを選んだのかとか、今回の曲目を選んだ理由、作曲家のこと等気さくに話し合いができ、音楽に対する共感と、この交流会を通じての住民同士の交流が地域の活性化と絆の深化に繋がっています。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 町会、活動団体、経堂あんしんすこやかセンター、経堂社協などとのチラシの掲示・配布について、例年通りの連携ができました。

令和6年度 実績報告書

No.24 団体名 じゅんかんチャレンジ桜丘推進協議会	事業名称 じゅんかんチャレンジ
補助金使用額 220,500円	内 容 ・「じゅんかん経堂日曜朝市」の開催：経堂農大通り入り口・烏山川緑道において近隣住民を対象とした朝市を開催。生ごみ肥料を使う生産者がとれたての野菜を販売します。（12月） ・「環境・食育授業」の実施：区立桜丘小学校の6年生を対象にSDGs、世田谷の農業、食品ロス等をテーマに授業を行います。 ・「じゅんかんフォーラムニュース」の開催：東京農業大学において広く循環型社会を目指す関係者を対象にフォーラムを開催します。（9月） ・情報誌「じゅんかんニュース」の発行：活動の広がりを目指して情報誌を発行します。（年1回）
補助事業に要した経費 225,000円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 予定していた朝市、食育・環境授業、料理教室及びフォーラムを実施することが出来た。また、新たにネットワークを広げることも出来た。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 地域、学校、生産者、大学など幅広いジャンルとのネットワークを構築することが出来たことが大きな成果として評価できる。

令和 6 年度 実績報告書

No.25 団体名 世田小地域ネット「いぶき」	事業名称 つなげよう地域と世田谷小
補助金使用額 245, 000円	内 容 学校外周の大型掲示板を利用し地域の行事、町会活動、交通安全運動、防犯、防災、リサイクル活動の広報を行う。夏に実施する納涼屋外映画会は世田谷八幡宮土俵を借りて、地域の住民が参加して顔見知りを増やし、防犯や防災広報し一時集合場所の周知に役立てる。年始に行う世田谷小学校児童による年賀状展は児童が作成した年賀状を大型プリンターで拡大印刷し、会員やPTAで掲示作業を行う。地域のFM放送を通し、見学者に災害時の避難所としての世田谷小学校を認識してもらい地域の安全や、防災の向上に役立てたい。
補助事業に要した経費 278, 027円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 今年度は、ほぼ事業計画通りに取り組むことが出来たが、学校と協力する事業に関しては教職員の働き方改革の影響で、来年度は協力を得られそうにもない。事業を縮小しなければならない。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった C	その理由 共働き家庭の増加、PTA 役員の不足や会員の高齢化、町会役員の成り手不足で活動の連携や協力継続に危機感を持っている。ボランティア活動を出来る余裕のない社会になりつつある。

令和6年度 実績報告書

No.26 団体名 特定非営利活動法人 せたがや防災士会	事業名称 地域防災力向上を高め、知識・技術の向上を目指した学習会等の開催
補助金使用額 174,984円	内 容 ①防災講演会1. 6月頃「世田谷区の防災を学ぶ」または「世田谷区の避難所運営マニュアルを学ぶ」会場未定。世田谷区の防災について学ぶ。 ②防災研修会1. 7月頃「災害対策の基本と実際」世田谷区の被災想定を知り、首都圏直下地震を踏まえた災害対策、備えについて考える。 ③防災研修会2. 9月頃昨年度に見直された「避難所運営マニュアル」について、内容を確認し、具体的な運用の仕方を考える。 ④防災研修会3. 10月頃近年関心が高まっている「災害時のトイレ」について過去の被災地の状況から、避難所や在宅避難時にどのような対策が必要か学ぶ ⑤防災講演会2. 11月頃を予定「ファーストエイド」場所は未定。障害のある人も無い人も一緒に学ぶ救急救命講座の開催。 ⑥防災講演会3. 12月頃を予定 昨年に続き「防災と福祉」分野から災害時に必要な障害者・高齢者への配慮について講演会を開催。地域防災関係者や障害当事者等に呼びかけ一緒に災害への対応備えを学ぶ ⑦防災講演会4. (映画上映会)1月頃に予定、東日本大震災関連のドキュメンタリー映画「生きる」の上映会を実施し、上映後に制作関係者から話を聞き、日頃の防災に活かす。 ⑧防災イベント1、「気象科学館」施設見学会。気象災害について学び、防災に役立てる。以上すべて地域防災・避難所運営に関わる方、地域住民と一緒に学び災害に備える。
補助事業に要した経費 184,740円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 今年度は昨年以上に地域との連携を意識して実施した。その結果町会等との関係も強くなり、また、潜在している地域の防災士の発掘にもつながった。

他団体との協力・連携の方法

- ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
- ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
- ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
- ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
- ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
- ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
- ☐ その他（ ）

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

各々の町会・団体等で個人的な繋がりを築くことが基本であり、このことが難しく最も重要である。なかなか出来そうで出来ないことを再認識した。踏込むことが難しい。

令和 6 年度 実績報告書

No.27 団体名 特定非営利活動法人世田谷桜丘まちづくり	事業名称 地域内道路への愛称募集事業
補助金使用額 245, 000円	内 容 日程：6月より、名称を募集する道路の特徴などの調査を行う。 8月～9月に道路名称の募集を行う。 10月～11月に集計して、名称案を発表、地域に周知する。 12月～1月に道路名称の表示板を道路ごとに設置する。 対象：地域住民と小中学校に、道路愛称の募集を行います。 内容：応募のあった案から各道路の愛称1点を選び、道路の愛称とする。その後、周知のための案内板を道路に面する住民の協力を得て、塀や敷地内に設置する。東電などの電柱なども、掲示可能かも打診する。
補助事業に要した経費 461, 460円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 前回募集程の応募がなかったが、今回の募集に際して前回公募した道路愛称案も提示したことで、応募総数は少なかったが、道路愛称案の周知ができた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（町会の掲示板に、募集及び結果報告の掲示を行った）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった C	その理由 区や町会の掲示板による広報については、協力してもらった。海外への渡航経験者や京都旅行した人には理解してもらえたが、協力団体の方には、災害時に道路の愛称がいかに重要かについてはなかなか理解してもらえなかった。

令和 6 年度 実績報告書

No.28 団体名 宮坂楽々倶楽部	事業名称 健康と安全安心講座
補助金使用額 164, 135円	内 容 地域の高齢者を対象に参加者の外出を促し、人生100年時代に則し、脳を活性化させるように、地域の方と共に講演と笑いを通じて、健康な心をつくり地域のコミュニケーションの向上を図ります。そして、この地域で多発している特殊詐欺の防止に役立つように、安全安心な町づくりを目指します。開催は、5月（落語の会）、9月（脳トレ教室）、11月（温泉の話）、R6年1月（新春落語の会）、3月（100年時代の生き方パートⅢ、以上5回計画しています。5月R6年1月の落語会は経営すずらん会館、他はチャームスイート経堂で開催します。
補助事業に要した経費 168, 985円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 経堂駅周辺の町会の会長を通して各町会の掲示板に貼っていただけるようになったことで他町会の方に広くPR ができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.29 団体名 タウンスエイト	事業名称 経堂・宮坂・桜丘スタンプラリー
補助金使用額 120, 190円	内 容 各町会ごとの集合地点からスタートし、8町会内に設けられたスタンプポイントを巡り、馬事公苑前のけやき広場をゴールとする「スタンプラリー」を実施する。スタート地点及び各スタンプポイントでは各町会の役員などが対応する。また、イベントを開催にあたっては経堂地区に拠点を置く企業、事業所及び団体等などに協力を仰ぎ、提供された物品などを参加賞として参加者を全員に配布します。 雨天による中止を回避するために予備日を設け、確実に実施できる体制を整えます。
補助事業に要した経費 120, 190円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 協賛団体の数は例年通り。各スタンプポイントを中心に各町会の協力も多く得ることが出来た。

令和6年度 実績報告書

No.30 団体名 世田谷ゴミ拾い研究所	事業名称 地域の清掃事業、小学校での出前授業
補助金使用額 120,515円	内 容 ・学区内、公園の清掃活動を月に2回程度おこなう。 ・町内の歩道全般の清掃活動を月に2～3回おこなう。 ・アルミ缶、スチール缶の回収とリサイクルを月に2～3回おこなう。 ・清掃活動や、ゴミ問題の有識者を講師として招き、講演会とゴミ拾いをセットにしたイベントを地域の公立小学校でおこなう。 ・小学校4～5年生向けのゴミ問題をはじめとした、地球温暖化への取り組みについて出前授業をおこなう。
補助事業に要した経費 145,015円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 出前授業が予想していたほど申し込みがなく、予定していた数を行うことができなかったが、その1回で児童や保護者と環境問題を考え、意見を交わす機会を得ることができた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 小学校と連携して、イベントを開催することによって、環境問題について考える場を設けることができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.31 団体名 繋組	事業名称 地域と子供たちの未来を繋ぐプロジェクト2024
補助金使用額 129, 186円	内 容 駒繋小学校の在校生・卒業生の父親が中心となり、地域の方・学校教職員もメンバーとして活動している駒繋小学校おやじの会「繋組（つなぐみ）」による、子どもの健やかな成長と地域の健全な発展をめざす年間事業です。 ・地域行事・避難訓練への運営・参加協力を通じた地域との交流（スタンドパイプ操作訓練（年1回）等） ・地域と学校の子ども・保護者を繋ぐワークショップ等の開催（8月、11月予定） ・町内会の協力をうけながら子どもたちとのイベント、学校へのお泊り体験、やきいも提供など（10月予定） ・スポーツ活動を主催し、会員に留まらず地域の方の参加を広く募り活動（昨年実績：会員以外の参加者約20名）、またオール世田谷おやじの会・世田谷区小学校PTAや他校団体との交流（年3回程度） ・活動計画検討にかかる会館使用、活動案内・報告にかかる広報誌作成・報告会の開催など（年6回程度）
補助事業に要した経費 190, 299円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

事業評価に記載した通り、多くのイベントに相互に参加し、関係構築することができた為駒繫小学校での活動を中心としつつも、町会の方のネットワークから下馬一丁目会館をお借りしイベントを行ったり、駒繫神社での防犯パトロールや野沢稻荷の御神輿担ぎ、商店街のイベント参加を通じ地域の中で絆が深まっていると感じている。実際、地域イベントからは毎年参加依頼をいただくようになった。フットサル・ソフトボール部の活動でも。地域一般の方の参加が広がっている。

令和 6 年度 実績報告書

No.32 団体名 上馬東町会	事業名称 第10回上馬公園「自然と親しむ体験フェスタ」
補助金使用額 244,608円	内 容 10月に上馬公園で誰でも参加できる「自然と楽しむ体験フェスタ」を」実施。」公園の柿の木を使った柿もぎ体験、参加記念渋抜き柿プレゼント、在宅栄養士会による柿レシピを発行し、毎号保管し料理をしているとの声もあり好評。さらに昔遊びなど、今の大人たちが子どもの頃体験していたことを地域の子どもたちに体験する場をつくり、伝える。あわせて災害時に助け合える関係づくりをすべく、行政（警察署、消防署、まちづくりセンター）や電力、ガスのインフラ事業会社が災害時に備える展示説明をする。近隣小中PTA、中里商店街の協力を得て模擬店を出店する。ハロウィンの時期に重なるため役員が仮装し、来場者も楽しんでもらう。川場村産直販売コーナー、古着等の回収も定着し今年度も実施する。参加者も年々増え2019年は1000名を超えた。しかし2020～2021年はコロナウイルス感染状況を鑑み中止。2022年に再開し、今年度に至る。
補助事業に要した経費 249,437円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（旭小、中里小では校長経由により児童に本件チラシを各家庭に配布）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

従来よりの協力・連携実績により関係先の担当者の異動があっても、後任者との交渉はスムーズに進めることが出来た。

令和 6 年度 実績報告書

No.33 団体名 グループippo	事業名称 地域みんなで考える「飼い主のいない猫のコト、デキルコト」
補助金使用額 245, 000円	内 容 ①地域住民と連携した地域猫活動の推進 ②飼い主のいない猫に関する「わかりやすく正しい知識」の普及啓発活動 ③関心の輪を広げるためのPR活動(イベントや交流会)を開催し、相談しやすい環境をつくる
補助事業に要した経費 677, 658円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 関係各町会の協力のもと、1年を通じてチラシの回覧や掲示を行うことができた。結果、イベントの参加者が増加するなど関心の輪の広がりを実感した。小学生を対象とした7月と8月の「子どもねこ会議」では、子どもと保護者が共に学び考える場を提供し好評を得た。1年を通じて学習・相談・交流の場を提供することで、多様な立場の人との新たなつながりが生まれた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 飼い主のいない猫に関する情報苦情相談やイベント宣伝において、各町会の協力のもと、スムーズにチラシやポスターの掲示回覧ができた。連携先団体の主催事業にプログラム参加した。連動企画や成果物の巡回展示において連携した。

令和 6 年度 実績報告書

No.34 団体名 小泉公園ふれあいフェスタ実行委員会	事業名称 小泉公園ふれあいフェスタ2024
補助金使用額 169, 870円	内 容 10月5日(土)の午前10時～午後3時に、区立小泉公園で町会と公益団体が主体となって”防災・防犯・環境”をメインテーマに子どもも大人も楽しめる”お祭り”を開催します。地域の皆さまとともに多様な活動を展開します。世田谷防災・消防署・消防団・警察署・清掃事務所の協力を得てAEDや消火器の使用、煙中行動などの防災体験訓練、消防車両・パトカー・白バイ・ごみ収集車などの展示と撮影会を行います。一方でバザーや模擬店などの出店にゲームや演奏会などの催し、またスタンプラリーも行う予定です。 万一、当日が雨の場合には区立駒沢中学校に場所を変えて行います。
補助事業に要した経費 230, 845円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 10月の「小泉公園ふれあいフェスタ 2024」は雨天のため駒沢中学校で規模を縮小しての開催であったが、町会、地域の団体間の連携、協力で無事開催できた。実行委員会では定例会議で状況を確認、方向感を確認して準備を進めた。

令和 6 年度 実績報告書

No.35 団体名 梅丘1丁目町会	事業名称 梅丘花の会
補助金使用額 188,744円	内 容 梅丘地区は障害のある方が多く、災害発生時の避難行動支援への難しさに困難を憶えており、日常の交流を深めることを第一歩と考え、すまいる梅丘、ノテ梅丘との絆を強める中で、避難所運営等の示唆を得る。又梅丘まちづくりセンター・社協・あんしんすこやかセンターが同一施設に入り、福祉の体制が充実しているため、活動フロアを利用される方々とも花壇を話題に交流を深める中で、防災意識の向上や街をきれいになどの啓蒙活動を進める。
補助事業に要した経費 188,744円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 町会役員の高齢化を連携先の皆さんが認識してく下さり、力の必要な作業を積極的に手伝って頂いた。又、花植え、水遣り等入所者が楽しみながら作業してくれた。

令和 6 年度 実績報告書

No.36 団体名 城山小学校 オヤジの会	事業名称 城山小学校を拠点とした、親子と地域活動を連携・促進する事業
補助金使用額 200,304円	内 容 城山小学校在校生の父親が中心となり、子供たちの健やかな成長と地域活動への連携促進を目指した事業を展開する。 ・小学校行事の機会を生かしたイベントやパトロール等で使用するユニフォームなどの作成(夏から秋頃) ・地域行事の手伝い、防災体験、炊き出し訓練等の運営を通じた地域との交流(10月頃) ・地域住民や保護者と子供をつなぐ、子供祭りの支援やワークショップの開催(9月および12月) ・地域団体やオール世田谷おやじの会等の他団体との交流など、活動計画検討にかかる会場使用、活動報告会や懇親会の開催など(通年)
補助事業に要した経費 203,413円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった A
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった A	その理由 城山キャンプによる防災をテーマとした各種訓練・イベントにおいて、運営する側、参加する側双方で、人数・交流機会が前年以上に増加。

No.37 団体名 池ノ上イメージアップ推進協議会	事業名称 池ノ上のイメージアップ推進
補助金使用額 224, 077円	内 容 ①4月、さくらフェスティバル(商栄会と協力した春の活性化イベント) 会場準備から清掃と地元中学校茶道部有志とコラボした野点茶屋を提供。 ②7月、池ノ上から世界のケイザイを考えてみる(講演会) 池ノ上在住の講師を招き、小中高校生や大人などすべての地域の方々を対象に、日々の生活から世界経済に繋がる疑問やいまどきのケイザイを意見交換しながら一緒に楽しく学ぶ。 ③10月、ハロウィンの夜を楽しもう(地域商店街と協力した秋のイベント) 地元小学校・保育園・幼稚園や商店街と協力した手作りの飾り物で彩り、地域住民・PTA・児童館・青少年交流センター棟によるゲームコーナーを設置し楽しむ。
補助事業に要した経費 244, 523円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった A	その理由 年間の活動が周知されてきた様で、特に秋のハロウィンでは参加団体やボランティアに名乗りをあげてくださる方が増えた。協力店も増え、参加者には広いエリアで仮装やゲームを楽しんでもらえた。商店街路の他に学校の校庭も会場としてお借りできたため制作物の設置や各団体の活動が一層充実し、今年も大盛況のうちに終えることができた。よって、評価Aとした。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

上記以外にも「参加が楽しい」と飾り付けや制作物や物品の搬入出を手伝ってくださる団体さんがいました。反省点は忙しさで連携が十分ではなかったことです。

No.38 団体名 池ノ上こどもとまちプロジェクト	事業名称 子どもをまんやかにまちをつなぐプロジェクト
補助金使用額 127, 559円	内 容 池ノ上小学校新校舎完成に伴い、ようやく子どもたちが池ノ上のまちで成長できる本来の環境に戻ります。これあわせ、子どもが地域のつながりを強め、顔と顔が見える関係性を築いていくことを目的とした活動を行います。 ①池之上小仮校舎ありがとう花火：仮校舎として使用した旧北沢小学校を会場に、登下校の見守りをいただいた地元の方々と池ノ上小在校生、保護者等と一緒に花火イベントを開催します。 ②池之上小新校舎ただいままつり：新校舎完成を記念しておまつりイベントを開催し、在校生に限らずまちの子どもたち、町会、商店街など地域の大人たちが集い、交流することで、顔と顔が見える関係性を築いていくことを目的とします。当日は子ども有志による太鼓パフォーマンスなどを企画し、会場を盛り上げます。 上記事業をきっかけとして、次年度以降かつて開催されていた池ノ上小こども縁日の復活をはじめ、町会、商店街と連携し、学校・商店街等を会場にした地域交流イベントの開催を目指します。
補助事業に要した経費 127, 559円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

地域のさまざまな方と顔見知りになり、イベントを通してお互いに協力することで、子どもが喜び、大人も温かい気持ちになり、地域の絆が深まった。楽しい機会の創出を通して、日ごろの協力体制の強化にもつながることを感じた。

令和 6 年度 実績報告書

No.39 団体名 世田谷伝統芸能に親しむ会	事業名称 日本舞踊を通して、伝統芸能を身近に感じてもらい地域を元気にしよう
補助金使用額 220, 500円	内 容 核家族化で、身近に祖父母がいない子どもが増える中、子どもたちに日本舞踊体験を通じて、高齢者の方々をはじめ、多世代での交流を目的としてふれあい体験を行います。 7月：町会と協力し、地域の方と日本舞踊体験と盆踊りを実施 9月：障害者施設入所者と地域の子もたちとの踊りを通じた交流 11月：子育て団体と連携し、子どもや子育て世代を対象とした日本舞踊体験 1月：高齢者クラブの方々と健康づくりのための舞踊体験 町会や高齢者クラブでの披露の場やワークショップなどを設けるなどこの活動を通じて子どもたちにも年齢の離れた方々との関わり方などを自然と学ばせ、社会貢献を担う人材を育成することがねらいです。
補助事業に要した経費 228, 138円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 地域のイベントに参加することで地域の方々と今まで以上に協力・連携ができたと思います。

No.40 団体名 代沢子育ておうえんだん	事業名称 代沢こどもフェス in 東地区会館
補助金使用額 201, 469円	内 容 代沢地域には、児童館がありません。そのため私達は、地域の子育て支援団体が集まって、“代沢子育ておうえんだん”を作り、地域の人たちと一緒に、子育て中の親子と小学校低学年のこども達とその保護者が、一時楽しく過ごせる機会を作るため11月に“代沢こどもフェスin東地区会館”を高齢者クラブや町会の協力を得て開催しています。歌唱指導をしていただき一緒に歌ったり、人形と触れ合ったりするワークショップも行います。手作りおもちゃ、手がた足がたアートを作ったり、日本の伝統芸能に触れたり、わらべうたを通して親子が触れ合いながらできる遊びをします。去年から、ボッチャとドライブシュミレーションゲームが加わりました。同じ場所に集い、楽しく過ごす時間を共有することで、人と人が繋がり、絆を深めるきっかけになり、安心して地域に馴染んでいけるようになると思います。
補助事業に要した経費 202, 166円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（下代田東町会は、去年に引き続き共催をしていただきました。）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

今年度から地域の学校にボランティアでの参加をお願いしたところ、一校から参加していただき、地域に根差した活動として認めていただけるように少しずつなっていきたいという実感がありました。

令和 6 年度 実績報告書

No.41 団体名 代沢こども広場	事業名称 赤ちゃんの感性を育てる事業を通じて地域との交流を深めよう！
補助金使用額 165,415円	内 容 ①「みんなのバイオリンコンサート」実演：社会福祉協議会の特技ボランティア（代沢中町会在住） 7／7（日）会場：代沢まちづくりセンター 対象：0才～小学校低学年 内容：鑑賞だけではなく、観客も一緒に手拍子や歌で参加したり、出演者とのやり取りも楽しい一体感のあるコンサートにする。 ②「ベビーミニシアター「あ・の・ね」とワークショップ」 実演：劇団ひまわり 9／29（日）会場：代沢まちづくりセンター 対象：0才～3才 ③「親子で楽しむコンサート～おんがくとあそぼう♪～とワークショップ」 実演：スイートハンド 12／1（日）会場：代沢まちづくりセンター 対象：0才～小学校低学年
補助事業に要した経費 166,248円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった A
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

継続して活動していることで、地域の各団体の信頼も得られ、協力・連携ができたと思います。

No.42 団体名 代沢中町会	事業名称 快適に暮らせるための安心・安全なまちづくりをめざす
補助金使用額 129,675円	内 容 町会活動の一つにある9月実施の「鎮守の杜防災フェス」では、町会員並びに近隣住民の方々に呼びかけ、発災時に備えるため、スタンプリ形式の防災訓練(初期消火・救命救急・通報・起震車体験等)を体験してもらう。また、「簡易トイレ設置」「発電機器の操作」「スタンドパイプ操作訓練」などを体験してもらうことで、共助の意識向上やコミュニティ醸成を図る。・毎週防犯・防災パトロールを実施し、町会エリアの見守りや啓発活動を行うことで、安全安心な地域づくりを目指す。
補助事業に要した経費 129,675円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

地区の全町会の理解と協力を得られ、事業を進めることができた。
本事業の継続と発展を目指し、引き続き連携を図っていく。

No.43 団体名 世田谷代田SAP	事業名称 世田谷代田を住みよく安心なまちにしようプロジェクト
補助金使用額 228,300円	内 容 ①壁画メンテナンス…世田谷代田駅環七道の壁画のペンキ塗り(修正＆新規)作業を、春秋の年2回、参加者を募って行います。(春は実施済、秋は11月予定)一般の方大歓迎、当日通り)かかった方も参加可です。 ②だいた田んぼ 代田4丁目の世田谷の世田谷代田駅続きにある「代田富士見ごろ広場」の一角の小さい田んぼに、毎年6年に田植え、秋に収穫祭行います。ぜひ、お子さんにご参加ください。 ③だいたフェスタ 昨年4年ぶりに代田小学校で開催した「だいたフェスタ」は延べ200名来場者で大盛況となりました。今年も12月初旬に実施予定です。代田地域の子どもたちと地域住民の絆をはぐむ子ども祭りです 。今年は壁画作成20周年、記念行事やイベントも計画中です④ワークショップ 年2回、専門家の方を講師にまちづくりや地域の防犯・ネットワーク作りについてワークショップを開催しています。今年は秋と冬に実施予定です。
補助事業に要した経費 228,300円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
その理由 昨年度から本格的に、壁画メンテナンス、だいた田んぼ、だいたフェスタ、ワークショップ(計2回)を1年度のルーティーンとして定例的に実施することができた。みごろ花植え隊との協働活動としての、代田富士みごろ広場の花壇や植栽の清掃・管理についても、例年通りの活動を行うことができ、メンバーも少しずつ増えつつある。代田小学校を会場にして開催した「第18回だいたフェスタ」は、代田小学校、代田小PTA、代田小おやじの会、代田和太鼓倶楽部などの他活動団体の多大なる協力により、総勢約200名の参加者で大きな盛り上がりを見せた。昨年度、コロナ禍を過ぎてからの本格実施に伴い、今年度もそれを大きく上回る規模での開催をすることができた。昨年度の絆をさらに強くすることができたようで、新規の参加団体も増え、多くの子供たちや地域の皆さんと交流することができた。また「SAPワークショップ」では、シモキタカレッジの皆さんと、新たに交流が始まり、これからが楽しみである。	

他団体との協力・連携の方法

- ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
- ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
- ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
- ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
- ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
- ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
- ☐ その他（ ）

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

壁画メンテナンス、だいたフェスタ、SAP ワークショップ、代田たんぼなど、例年の行事をすべて実施し、予想以上の参加人数や協力者を得られて、大盛況だった。新しい協力者や和が広がり、また、ホームページやインスタグラム、SNS などの情報発信メディアを活用し、SAP の活動を広く案内することができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.44 団体名 おはなしカラフル	事業名称 絵本や紙芝居で地域の仲間とつながろう！
補助金使用額 123,676円	内 容 小学生の保護者向けには、「絵本の勉強会」として毎月の学校での絵本や紙芝居の読み聞かせに役立つ講習会を開催します。また「おはなし会講習会」として乳幼児から大人まで楽しめるおはなし会を開くための実践を含めた講習会を開催します。その他、児童館や社会福祉協議会などが主催するイベントで主に乳幼児を対象、NPO法人がこども劇場せたがやが主催するイベントでは赤ちゃんから大人までを対象としたおはなし会を実施します。
補助事業に要した経費 140,953円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 幼児保育やストーリーテリングの神様と呼ばれる藤田浩子さんを講師としてお招きしました。認知度が高く、子育て世代のみならず、大人のみ、祖母としての立場の方など多くの方にご参加いただきました。収容人数の都合上、途中からはお申込みをお断りするほどで、関心の高さを実感しました。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 より積極的に連携団体の活動に参加することにより、当方の活動にもご理解を深めていただくことができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.45 団体名 代田小おやじの会	事業名称 代田小における、子供たちのための学校・地域・家庭の連携事情
補助金使用額 123, 595円	内 容 小学校やPTA、町会、地域団体、消防等と連携して、3カ月に1回程度のイベントを実施する。具体的には、定期に開催される地域主催の避難場運営委員会への参加、地区班同士のつながりを再認識し、強化するための水てっぽうイベント(7月)や、災害時にも対応できるよう防災訓練を兼ねた大釜や飯盒を用いた食事作り、災害時に用いるテントを使用した校庭での宿泊訓練を含めた校庭キャンプ、代田地区の地域団体の催しであるだいたフェスタ(当会は共催)への参加(12月)、小学校のプールを用いた釣りや遊びを行う等、学校行事とは異なる視点で、楽しみながら学びつつ、地域にかかわるあらゆる人・団体との連携する事業を行い、子供にとって安心・安全な地域づくりの実現を目指す。
補助事業に要した経費 123, 595円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 当初想定しなかった児童館の協力もあり、イベントには、代田小学校の児童だけでなく、未就学児もたくさん参加してもらうことができ、地域とのつながりができる場を提供することができ、そのほか地域団体を含めて活動により、地域間等の交流を持つことができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.46 団体名 代田睦会	事業名称 代田の魅力を知ってもらおう
補助金使用額 223, 735円	内 容 代田睦会は代田地区をはじめとした地域住民の皆様と交流・お手伝いを通じて絆を広げる活動しています。 また、広報活動として、代田八幡神社で行われるお祭り(9月)や盆踊り(7月)餅つき(1月)・世田谷梅まつり(2月)などに多くの方に集まっていたくための広報活動を目的として、パンフレットなどを作成・配布をしています。
補助事業に要した経費 226, 474円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 代田地区の一大イベントである代田八幡神社祭礼は、昨年度に続き制限なく開催でき、約350名に参加してもらえた。子供祭り、大祭などは代田地区の住民の皆様にも喜んでいただき、各町会・おやじの会、商店会等との地域の絆を深めることが出来ました。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 代田地区住民延べ 350 名以上がイベントに参加して頂き地域の絆の活性化に寄与することが出来たと思います。

令和 6 年度 実績報告書

No.47 団体名 東北沢睦会	事業名称 東北沢を再発見
補助金使用額 214, 386円	内 容 メンバーは・東北沢自治会・東北沢商店街などの運営に参加しているため、多くの東北沢のイベント・行事に参加するきっかけになるように東北沢の魅力をアピールしていきます。地域の方々に東北沢地区で行われるイベントを知って貰い参加してさらに一緒に運営にも参加してもらうきっかけを作るために広報紙(ポスター・チラシ等)などを作成して北沢1丁目・3丁目の住民・店舗に配布します。 東北沢睦の様々な活動(お祭り・餅つき・お花見、他団体主催の北沢祭り・ありがとう祭り・ラジオ体操等)に、参加、お手伝い、ご協力頂くことで、地域の交流の場を活性化し、地域全体で交流を深めて参ります。
補助事業に要した経費 221, 978円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 概ね計画通りに、交流・協力ができたため。

令和 6 年度 実績報告書

No.48 団体名 下北沢リンク・パーク実行委員会	事業名称 道路事業用地の活用による繋がりと下北沢のまちづくりの今後の展望
補助金使用額 43,067円	内 容 2019年から活動を継続している、道路事業予定地を活用した下北沢リンク・パーク(北沢2丁目)において、定期的(週1回程度)に休憩スペースとして解放するとともに誰もが参加できるイベント活動を月1回程度、他団体と連携して行う。まちなかで誰でも休息ができて、交流のきっかけとなることをねらうソライすプロジェクトを昨年度から継続して進めていく。下北沢と三軒茶屋駅間のバスの利用状況を把握し、過年度に行った自動車の交通量調査結果とあわせて将来の下北沢駅周辺における人と車の流れについて検討を行い、意見交換等を通じて多くの方と議論を重ねていく。
補助事業に要した経費 51,067円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 下北沢リンク・パークを週1～2回休憩スペースとして開放し、イベント活動を他団体と連携して月1回程度行うことができた。 下北沢駅と三軒茶屋駅間のバスの利用実態調査を行い、将来の下北沢駅周辺について意見交換を行うことができた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 地域の団体と連携・協議しながら活動を継続することができた。

令和6年度 実績報告書

No.49 団体名 NPO法人ジョイントT・M	事業名称 「ここからカフェ」～お茶を飲みながら 何でも話そう～
補助金使用額 113,490円	内 容 現在行っている下記の事業を継続していきたいと考える。 ・毎月第3金曜日13:00～15:00にうめとぴあ研修室で「ここからカフェ」を開催。毎回15名前後の地域の方が参加。 ・2012年より12年間継続し、2024年5月現在で116回目となる。＊9年間は上北沢にある社会福祉協議会の「ふれあいの家」で開催し、現在うめとぴあに移った。 ・対象者は、心に不調を訴える方、孤独を感じている方、楽しい経験をした方など、どなたでも ・内容は、前半は様々な分野の講師をお招きし、笑いヨガ、音楽療法、アロマセラピー、ボードゲーム、パステル画、コラージュなどのプログラムなどの体験、後半の1時間は、小グループで不安なこと、近頃思ったことなどを話し合う。
補助事業に要した経費 143,290円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

松原 5.6 丁目主催の「スズラン会」に参加して交流を強めた。一緒に物作りをしたり、ともに歌ったり、体験をした。災害時の対応についても学んだ。

令和 6 年度 実績報告書

No.50 団体名 健康ウェンズデイ運営委員会	事業名称 健康ウェンズデイ
補助金使用額 68,296円	内 容 ・毎週木曜日に、世田谷区梅丘中学校体育館にて、ショートテニス・キンボール・卓球等、子供から高齢者まで気軽に楽しめるスポーツ体験の場の創出・提供 ・キンボール体験会を9月に行い、キンボールの普及と共に活動仲間を増やしていきたい。 ・ボッチャ体験会を10月に行い、ボッチャの普及と共に活動仲間を増やしていきたい。
補助事業に要した経費 76,756円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった C	その理由 今年度から梅丘中学校のご厚意により、活動日が毎週木曜日になった。増えたので良かった。今年は運営の主体を参加の皆さんにした。キンボール体験会は募集人数が集まらず断念した。種目をフットサルに代えたところ、参加者が増えたことはよかった。ボッチャ体験会は開催できたが、参加者は3人、と想定の半分も行かなかった。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった C	その理由 運営の主体を参加者の方に任せる部分を増やした。これまでやっていた種目のキンボールは参加者が増えないので来年度はフットサルに代えてみたい。

令和 6 年度 実績報告書

No.51 団体名 松原5・6丁目自治会	事業名称 第9回松原の文化祭「ふれあい絆フェスタ」
補助金使用額 245,000円	内 容 10月19日(土)松原地区にある都立光明学園において地域の子どもから高齢者までが一同に集うイベントを開催し、地域住民同士のふれあいの場として活用することで、多世代の交流を図る。楽器の演奏、ダンス、声楽(以上ステージ使用)、書画、写真、手工芸品、陶芸など作品の発表、フリーマーケットなどの開催を行う。
補助事業に要した経費 392,763円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 舞台や展示、地域活動団体の紹介等様々な部門があるため、地域住民だけではなく当地区にある保育園・小学校・中学校の児童の参加も多く乳幼児から高齢者までが一堂に会し交流を深めるとても良い機会になった。また都立光明学園が会場のためバリアフリーとなっており光明学園在籍児童にとどまらず、地域の高齢者の方も来場しやすいとの声がきかれた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（ 作品を出展してもらった ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 地域住民の交流の機会として定着してきたことにより、当自治会の防犯や防災にたいする取り組みについての認知度も向上した。

令和 6 年度 実績報告書

No.52 団体名 松原三・四丁目自治会	事業名称 地域の子どもは地域で見守る「すくすく育て “松原っこ” 」
補助金使用額 223, 665円	内 容 毎月、通学時の見守り・防犯パトロールを定期的実施し、子どもたちの安全を確保する。また、11月に弁天児童遊園で地域住民と子どもたちのふれあいの場として「わくわくキッズフェスタ」を開催し、世代を超えた交流を図るとともに地域の絆を深めていく。
補助事業に要した経費 383, 532円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 11月3日に開催した「松原三・四丁目わくわくキッズフェスタ」(以下「キッズフェスタ」)ではおよそ400名の来場者を迎え、これまで自治会活動にあまり参加したことがない子育て世代と交流することができた。キッズフェスタの開催により多くの住民を呼び込むことで、自治会活動への理解・協力、PR活動を効果的に行うことができた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板上に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（各連携団体にチラシを配布し周知をしてもらった）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 協力・連携団体に実行委員会に出席していただくことで、地域住民の動向や昨今の事業の方向性、キッズフェスタの在り方などの意見交換をしながら事業運営に携わっていただくとともに、地区における日常的な見守り活動の関係性の維持構築に寄与している。

令和 6 年度 実績報告書

No.53 団体名 松原二丁目町会	事業名称 落書き消し
補助金使用額 9,833円	内 容 町会や商店街、高校、企業の様々な団体、住民が参加し、地域の清掃活動、3月の落書き消し、通年のシールはがしや防犯パトロールを行うことで環境美化や防犯に対する意識を向上する。また、地域住民の取り組みについて理解を深めてもらう。またそのために回覧板、掲示板を活用する。
補助事業に要した経費 9,833円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 二つの学校に協力が得られた。 町会の活動の存在に触れてもらった。

令和 6 年度 実績報告書

No.55 団体名 明大前駅周辺地区街づくり協議会	事業名称 この街ならではのイベントを通じて、災害時に備えて仲間になろう
補助金使用額 231, 027円	内 容 7月の七夕まつりでは小学校、保育園、明大前駅通路、市民緑地に竹を設置。街に対する要望を短冊に書いてもらい竹に短冊を飾ってもらい広く街の声を収集します。正月作り(年末年始)は門松作成を園児、小学生と行い日本の伝統行事を通じて「交流の場」を作ります。また、門松の竹は再利用して竹灯籠を小学校と作成。3月11日に竹灯籠まつりを開催。災害時の「協力の灯」として点火します。10月には全年齢参加型事業「震災対策用井戸スタンプラリー」を実施。町会の協力を得て井戸の所有者に協力を要請します。井戸の酒類がわかるマップと井戸の酒類がわかる旗を作成し、旗のデザインは公募し震災対策用井戸の周知に役立て地域の絆を深めます。
補助事業に要した経費 272, 027円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 七夕では522名の方から街への意見をもらい、駅周辺まちづくり活動合同発表会に於いて街の声を発表。電動式、手動式がわかる震災対策用井戸の地図と旗を作成。スタンプラリーを行い井戸の周知を行った。門松を作成し、その竹を加工し竹灯籠を作成。協力への灯として地域防災の絆を深めることができた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 震災対策用井戸について、電動井戸と手押し井戸の判別ができる地図と旗を自主作成し住民に周知できたことは大いに評価できる。松原小学校・松原小 BOP・日本学園・松原北保育園・松原地区の全町会の協力が得られ、協議会会員の範囲を超えた地域にも活動を知らせることができ、地域の絆が深まった。

令和 6 年度 実績報告書

No.56 団体名 赤堤1丁目町会	事業名称 サウンドスケープIN赤堤
補助金使用額 132, 594円	内 容 赤堤1丁目町会ではサウンドエスケープIN赤堤コンサートを年間3回以上、これまでに52回開催し、近隣の皆様に楽しんでいただいています。今年度は10月14日スポーツの日に声楽とピアノ、12月8日(日)にマンドリンオーケストラによるXマスコンサート、2月に小編成吹奏楽演奏会を開催予定です。会場は赤堤小多目的室、東京新教会です。「赤堤1丁目を中心とした周辺に住まう子どもから高齢者の皆さんに気軽に歩いていける場所で一流の音楽を聴いていただくこと」がスタート時からコンセプトです。演奏を聴くだけでなく、纏わる歴史や時代背景など、演奏者による解説等も好評です。
補助事業に要した経費 177, 759円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 3 回のコンサートを開催。53 回は声楽家を招いてのワークショップ。54 回はマンドリンオーケストラに加えて赤堤小合唱団の Xmas コンサート。55 回は吹奏楽アンサンブル。三種三様の音楽を体感することができ、多くの地域住民と交流できた。

令和 6 年度 実績報告書

No.57 団体名 赤堤に文化を！六所の森の会	事業名称 第38回六所の森クラシックコンサート
補助金使用額 245, 000円	内 容 赤堤2丁目にある六所神社境内の神楽殿を舞台にプロのアーティストによるクラシック曲を中心とした演奏会を開催します。秋の夕暮れ時、かがり火の中、聴く幻想的なコンサートは忘れられない思い出となります。令和6年10月13日、入場料無料で日没開演。昨年は、楽器バンドネオンによるアルゼンチンタンゴをお届けしました。今年の第38回は、珍しい楽器スティールパン(Steelpan)によるバンドの音楽をお届けします。ドラマ缶から作られた音階のある打楽器。独特の倍音の響きを持った音色が特徴。カリブ海最南端の島国トリニダード・トバコ共和国の世界をお届けします。また、八丈町との長年の連携も深まっており、八丈太鼓の演奏で来場者を迎えます。今年も新しい内容に挑戦します。
補助事業に要した経費 662, 752円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 新たな発想で、神社の森の中の境内で、カリブ海の伝統音楽を企画し挑戦。これまでの六所の森クラシックコンサートには無かったパフォーマンスでした。参加者の皆さんと一緒に参加してお手伝いしていただき、大きなコミュニティ醸成ができたと思う。

令和 6 年度 実績報告書

No.58 団体名 特定非営利活動法人せたがやオルタナティブハウジングサポート	事業名称 町会と連携して進める地域の防災活動PARTXI
補助金使用額 245, 000円	内 容 ①昨年度の地区防災計画の骨子をもとに、地区防災計画案を作成する。テーマは(1)「消火活動」から2項目(2)「安否確認と情報共有」から3項目(3)「要配慮支援者」から1項目とする。 ②この計画案を町会全体に回覧、意見を集約し地区計画案を完成(前半期)。区との折衝に入る。(①、②とも町内会住民を対象) ③毎年恒例の防災活動として、参加人数を増やすための魅力的な防災訓練の企画(初期消火訓練/安否確認訓練/救命救助訓練)準備、周知、実施後の振り返りを行う。(6月、10月、2025年2月、町内会住民を対象)
補助事業に要した経費 279, 068円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 ①年間12回の地区防災計画策定委員会で検討し地区防災計画案を完成できた。 ②この計画案を町会全体に回覧、意見を集約し、この意見を反映した地区計画案を策定したが、回覧作業に時間がかかり、区との折衝にまで至らなかった。 ③上記の計画を視野に入れて防災訓練を実施。初期消火訓練では、消火栓からホースの届く距離を確認、届かないエリアを調査した。安否確認訓練では未入会の世帯、空き家を特定し、迅速な安否確認を図った。救命救助訓練では、受講者を募集し普通救命講習を受講、10代から70代まで15名が新たに資格者となった。 ④避難所運営訓練、北沢地域区民防災会議、松沢地区防災塾に参加、部会で周知を図る
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他 (zoom設定、会議進行、アジェンダ、議事録の作成、防災用品・備品管理)	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

地区計画回覧にあたっては、多くの班長、当番にご協力いただいた。安否確認訓練時には、多数の防災パートナーの参加があり、迅速に実施できた。

No.59 団体名 奥沢地誌保存会	事業名称 郷土奥沢の歴史関連資料の収集及び利活用・普及活動
補助金使用額 120,881円	内 容 1. 本会主催又は共催の歴史展や歴史講座などの開催。 本会主催の歴史講演会を、年2回(10月と2月を予定)奥沢地域に居住する方を対象に奥沢地区の公共施設の会議室を借用して開催する。共催又は協力の歴史講座や歴史展示は、共催先の要望等により随時積極的に開催する。 2. 地域内学校への郷土の歴史を知る講座・授業の支援などの活動。 地区内の3小学校は7月に3年生を対象として授業。私立学校は年4回の歴史講座。 3. 会ホームページの内容充実と閲覧者との交流促進を通年で実施。 4. チラシ、リーフレットの作成掲示等により、本会活動の周知・広報と、行事等への参加・協力の呼びかけに活用。
補助事業に要した経費 145,781円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

主たる事業である講演会及び歴史講座(講演)の開催に関しては、新たな団体からの依頼もあり、目標以上に連携できたと考えています。

また、ホームページを通して、歴史関連情報等に関する問い合わせも増え、個人の方との繋がりも増えてきていると感じています。

令和 6 年度 実績報告書

No.60 団体名 みかも保存会	事業名称 奥沢海軍村当初の建物と緑を残しつつ、その歴史をも伝え残していくために
補助金使用額 156, 971円	内 容 区の地域風景資産「奥沢海軍村ゆかりの風景」を構成する海軍村の建物は、いまでは3軒を残すのみで、中でも一般公開しているのは「読書空間みかも」だけとなりました。奥沢の歴史をずっと見つめてきた建物や庭の木々をこれからも維持し、また施設図書として広げてきた文化芸術その他にかかわる活動を拡充するため、新たに3つの事業に着手します。・小冊子「みかも」(仮)の作成(3月)建物や関わりのあった人々のことなどを記録し配布・みどりのお手入れday(7月・12月)近隣の方など草木の手入れと交流を図る・絵手紙ワークショップ(9月)手紙文化を若い人たちに知ってもらおうきっかけとしたい
補助事業に要した経費 174, 602円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 計画したイベント及び冊子制作は予定通りに行うことができた。絵手紙ワークショップへは近隣の方などの参加を得て盛会となり、小冊子についても、読書空間みかもがよくわかるようになったという評価をいただけている。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（世田谷トラストまちづくりの広報誌にみかもを取り上げてもらった）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 奥沢交和会の掲示板にチラシなどを掲示してもらうことができ、活動広報の場をいただけた。玉川まちづくりハウスと読書空間みかもの関りを紐解ききっかけが持てた。

令和 6 年度 実績報告書

No.61 団体名 ここからカフェ九品仏	事業名称 ちょっと息抜きしたい、話したい場所 ここからカフェ九品仏
補助金使用額 135, 496円	内 容 月に1度(年10回)原則第4土曜日、九品仏複合施設の活動フロアで、どなたでも参加出来るサロンを開催します。地域で活動されている「東洋医学のインストラクター」に健康の話を聞いたり、「車いすで活躍している方」を紹介したり、「朗読会」など様々な方たちの興味のアンテナに届くよう毎月異なるテーマを設け、講師を中心に話し合い同じ地域の方同士が気楽に集い、知り合いになれる場所を提供。老若男女、障害者にも楽しく参加いただけるよう、EV使用、誰でもトイレの完備の複合施設で開催。地域の方々が地域で開催されているサロンを知る機会になり地域の輪が広がり、互いを助け合う共助に発展することを目標にしています。
補助事業に要した経費 205, 996円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（毎月地域団体のホームページ掲載により、参加者募集を行った。また、その他関係団体には事業周知に協力していただいた。）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 当初想定団体はもちろん、それ以上の団体と連携して、事業を実施することができた。具体的には、事業周知及び事業への参加に協力いただくことができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.62 団体名 子ども会少年団を育てる世田谷センタ ー	事業名称 地域に子どもの異年齢集団を育てよう
補助金使用額 239,788円	内 容 異年齢の子ども達による集団活動を育成する事業。具体的には月2回近隣の公園での外遊びや、地区会館等を利用し、ギターを弾いたり、ボードゲームをしながら思春期の中学生と指導員が話し合う月1回の中学生会、本番まで何度も会議や訓練を重ねて仲間意識を育んで臨む3泊4日の夏のキャンプ、近隣の商店街のハロウィンパーティーへの参加、クリスマス会、2日間にわたり設定したテーマについてみんなで学ぶ青空学校、その他、地域のイベントの盆踊りのお手伝いや、新春こども祭りでは小中学生が中心になりゲームコーナーを担当。秋には遠足をかねて代々木公園のあそび万博へ参加。地域からひとりぼっちの子どもをなくすために、年間を通じて様々な活動を行っています。
補助事業に要した経費 344,288円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 ここで育った子どもが成長し、今度は指導員となり、自分達が楽しかった体験を地域の小中学生に繋いでくれている。毎年同じことを行っているが、指導員達は成長し代わっていく中で、45年にわたり同じ事を行えている事は凄いことだと思う。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 地域の小学校の盆踊りや、新春こども祭りなどで、子どもと指導員が活躍している姿を見てくださり、ねぎらいの言葉をいただいたりする。これからも地域の活動に積極的に参加していきたい。

No.63 団体名 玉川田園調布防犯パトロール隊	事業名称 「安心して暮らし続けられるまち」をテーマに＜絆＞を多世代に広げるまち守り活動
補助金使用額 196, 000円	内 容 ①防犯パトロール活動の継続と犯罪発生データの蓄積による予知防犯を目的とした広域データの分析(毎月) ②「安心・安全まちづくりニュース」の発行と事務局会議によって地域の安全に関する情報共有を進め、防犯パトロール隊員の拡大を図る。(毎月) ③安心・安全まちづくりに対する関心を高めるために防災、交通安全、高齢者・子どもの見守りをテーマとしたシンポジウムを開催し、参加者の年代層を広げ地域の絆づくりを進める。(9月と2月) ④周辺町会及びPTA、玉田シニアサロンと連携し、防犯パトロール活動のサインである首下げ防犯カードの周辺地区への普及を図る。(通年)
補助事業に要した経費 203, 500円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

・玉田シニアサロンでは田園調布開発の歴史を通して大田区の田園調布会との交流が始まった。同一の生活圏である田園調布会との連携は防犯上も意味があると思われる。

No.64 団体名 尾山台小学校おやじの会	事業名称 地域の方々と共に子供達に様々な体験の場を提供
補助金使用額 15,830円	内 容 尾山台小学校及び地域で開催される行事やイベントに縁の下での力持ち、時には主催者として参加し、子供達や地域の方々に文化、スポーツを体験できる場を提供していきます。「サバイバルキャンプ」では災害時の対応を経験してもらったり防災意識の向上を図ってもらい「E-Oyaji」では小学校体育館や校庭を利用し、地域の子どもたちやその保護者を対象に災害時の対応を経験してもらったり防災意識の向上を図っております。「ウクレレキッズ」は地域のこどもたちと保護者を対象に希望者を募り、6月～10月に小学校や中学校にて練習会を実施。尾山台フェスティバルをはじめとした各イベントへ参加。また、「E-Oyaji」ではお父さん達の職場体験(裁判疑似体験、建設現場見学等)を行ってもらい様々な経験を積んで自身の将来の参考にしてもらいます。
補助事業に要した経費 32,059円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

尾山台大運動会や尾山台裏通りフェスティバルなどにご協力させていただくことで、まちの多くの方の笑顔のお手伝いをすることができました。

令和 6 年度 実績報告書

No.65 団体名 尾山台中学校おやじの会	事業名称 花壇づくり・焼き芋づくりを通じ地域の方々と共に生徒達に体験の場を提供
補助金使用額 124, 074円	内 容 尾山台中学校及び地域で開催される行事やイベントに縁の下での力持ち、時には主催者として参加し、子供達や地域の方々に文化、地域連携を体験できる場を提供します。11月はじめに「花壇づくり」「焼き芋づくり」を同日開催で企画し、事前にチラシ配布告知。「花壇づくり」は商店街や近隣住民と生徒達と協力し、一緒にパンジー・チューリップなどを植えます。春先の入学式前後で開花し、学校沿道で色づくことで、地域の美化意識の促進を図ります。「焼き芋づくり」では学校内に一部芋を作り、食育として生徒と一緒に焼きいもづくりを体験し、出来上がった焼き芋を生徒および地域、近隣、商店街の方へ提供します。花壇や焼き芋を通じて、生徒は地域住民と交流し、将来に活きる貴重な体験をしてもらいます。
補助事業に要した経費 129, 133円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

尾山台 3 丁目町会、尾山台商栄会商店街振興組合には告知。ただ初めてということと、最初に設定した日が雨で順延したことにより参加人数は当初想定より低かったので告知方法を練ったうえで開催を図りたい。

No.66 団体名 おやまダイブ	事業名称 様々なテーマで多世代がつながり暮らしを楽しく豊かにする「まちの活動」
補助金使用額 79,380円	内 容 地域住民での住民活動には趣味や学び、防犯や清掃など、様々なものがあるが、世代によって参加しやすい形が異なっていたり、それらの活動どうしの横のつながりも得られにくい。そこで、暮らす「まち」で顔見知りが増え、主体的な活動が連鎖的に生まれていくようなプラットフォームの形式を目的とする。そのために、地元の町会や地域活動とも情報交換を行うなど積極的に連携を図りながら、納涼まつりならびに尾山台フェスティバルで地域の方々に向けてプラットフォームの紹介パネルを使って認知度を高め、潜在的なアイデアも聞いていく。2月には、町会と連携してワークショップを開催し、参加者同士で意見交換する機会を設ける。さらに活動の様子や成果をニュースレターにまとめ、町会回覧等を通じて地域に広く周知する。
補助事業に要した経費 80,170円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった C	その理由 住民が主体的に興味のあることに継続的に取り組み、活動を行うことができた。連携団体とスケジュールを調整することが難しく、ワークショップを実施することはできなかったが、2月におやまちプロジェクト及び東京都市大学と共催した会議フェス(OYAMACHI LIVINGLAB MEETING FESTIVAL)でニュースレターを配布するとともに、地域の方々や「まちの活動」のあり方などを意見交換した。ワークショップについては、具体的なビジョンを早期に決めて行動すべきだったが、調整不足により実施できなかった。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（ 団体が主催するイベントでパネルの掲示、チラシ配布を行った。 ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

C

その理由

地域住民の方とイベントなどで交流しながら、活動を周知することができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.67 団体名 玉堤小コミュニティー	事業名称 玉堤小学校と地域をつなぐ活動
補助金使用額 189,165円	内 容 玉堤小学校の通学区域を主な活動範囲として、町会や玉堤小学校、同PTA、同おやじの会、玉堤みどり会などと協力して、広報紙「玉堤小通信」の年6回発行、ラジオ体操、餅つき体験を開催し、様々な方へ参加を呼びかけ「顔の見えるお付き合い」の輪を一層広げて、子どもたちの安全と地域の防災防犯に役立てる。
補助事業に要した経費 190,064円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 イベントはほぼコロナ流行前と同様に開催できたが、インフルエンザやノロウイルス流行などもあり学級閉鎖の状況もみながら学校と相談しながら進めた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板上、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 例年通り、各団体と連携・協力して進めることができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.68 団体名 等々力小学校おやじの会	事業名称 子供の健やかな成長を目的とした親と学校、地域の連携
補助金使用額 161,955円	内 容 1 等々力小あいさつ活動を自治会の掲示板に掲載しおやじの会も参加することにより、近隣住民および自治会とのコミュニケーションを促進する。 2 近隣自治会主催の防災訓練、避難所運営訓練に参加し、有事の際には円滑に行動できるよう連携を強化する。 3 学校行事のライブ配信により、地域に開かれた学校づくりを支援する。 4 等々力小学校PTAおよび近隣児童館のイベントに協力し、児童と地域住民とのふれあいの場を増やす。
補助事業に要した経費 312,330円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 いかだ大会については計画通りに取り組むことができたが、残念ながらいかだ大会は中止となり、急遽学校のご協力をいただき、プールにて独自のいかだ大会を実施した。多摩川では開催できなかったが、急遽行った独自大会が大盛況となって、参加者、参加教員より評価いただいた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 いかだ大会に向けては、東深沢小と連携して実施、また期首に未計画であった等々力小卒業イベントとしての初の防災キャンプを、初めて東深沢中学校おやじの会と共催で開催。

令和 6 年度 実績報告書

No.69 団体名 おでかけサポーターズ	事業名称 一般公共機関を一人で利用困難な方々が自由に外出し自立した生活を実現する。
補助金使用額 110,500円	内 容 玉川地域の方々に(等々力～二子玉川往復)で毎月第二第三水曜日に、社協、野毛町会、尾山台商店、野毛商店、デーホーム玉川、玉川地区民生委員、まちづくりセンター、地域ボランティアと連動しておでかけバスを走らせることによって地域コミュニティを構築していく。
補助事業に要した経費 195,695円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 登録利用者が25名になり1日平均3名位の利用者になり、野毛町会の副会長が運転の応援をして戴けるようになった。また、今後は野毛での運行報告会の実施も見込まれる。また、オオゼキ、タタタハウス、池田屋、ファニーワン、各商店様の協力も得られるようになった。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（ まちづくりセンターでチラシを配布して頂いた。 ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 サポーターズとしては、人、物、金の脆弱の中、コミバス運行でのコミュニティの確立のため、野毛町会、まちづくりセンター、社会福祉協議会、各商店、クリニックとの横横の連携ができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.70 団体名 特定非営利活動法人ら・ら・ら	事業名称 地域 みんなで健康づくり in 楽ちん堂カフェ
補助金使用額 199,864円	内 容 特定非営利活動法人ら・ら・らの拠点である楽ちん堂カフェにて「地域住民の健康づくり」をテーマにしたイベントを開催します。今年度は、歯磨き講座やマッサージ講座を新設し、華道など内面から意識した健康だけではなく、ご自身での日々の健康づくりにつなげることで地域住民の活性化を目指す。イベント情報はポスターを制作し、SNSでの宣伝、チラシの配布をしていきます。 ・7月 各月のイベントのついて説明会を開催。 ・8月 複式呼吸から自律神経を整えるボイトレ講座を実施予定。 ・9月 歯の健康保持、習慣化を意識した講座を実施予定。 ・10月 華道を通したメンタルケア講座を実施予定。 ・11月 アロママッサージを用いて、施術方法セルフマッサージ講座を実施、解説予定。 ・1月 書道を通じてメンタルケア、集中力向上につながる書道教室を実施予定。
補助事業に要した経費 225,707円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 去年度まで講座開催で使用していたスペースが、今年度は別事業のために使用できず、それに伴って日程の調整などがあったが、各講座にあった形を模索しながら、準備、本番に取り組むことができました。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（ 連携団体の運営する事務所にチラシを置いてもらった。 ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

チラシの掲示を依頼するためにコンタクトをとった等々力児童館。職員さんのお話を通して、改めて団体の活動を知り、相互関わることが色々できることが分かった。今後も継続した関係になりそうな繋がりができました。

令和 6 年度 実績報告書

No.71 団体名 中町4・5丁目町会 防犯部	事業名称 日だまりレンジャーと緑のレンジャーで結ぼう中町コミュニティー
補助金使用額 166, 597円	内 容 緑のユニフォーム着用にて小学校の登校見守り、午後6時帰宅の新BOP児童の各家庭への送り届け。毎週土曜日町内夜間パトロール。上記安心安全のための活動のほか、各行事の警備、近隣町会との会合及び活動内容や結果報告としての広報紙の印刷。
補助事業に要した経費 197, 197円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 コロナ禍の影響も減少し、計画した事業はほぼ行うことができました。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 PTA の方々、商店街、一般の人々にも積極的に参加して頂き、ある程度は協力・連携できました。 しかしながら、町会役員は高齢化しており、暑い時期、寒い時期での体調管理が大変です。

令和 6 年度 実績報告書

No.72 団体名 ペット防災せたがやネットワーク	事業名称 ペット防災と防災力のある地域づくりのためのネットワーク
補助金使用額 199, 945円	内 容 ペットと暮らす人、地域の方々を対象に、ペット同行避難を行うために必要なしつけトレーニング、災害時の自宅、避難所での過ごし方、防災準備などの講習会を10月、11月、2月、3月行う。 避難訓練への参加や模擬避難訓練なども行い避難所でのペット防災のルールづくりを行う。世田谷獣医師会主催の動物フェスティバルではペット防災の啓蒙活動を行う。
補助事業に要した経費 242, 848円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 ペットと暮らす方、地域の防災委員をしている方に参加いただけて、横のつながりを広げることができた。参加者には災害時の備えや避難所の現状を理解していただき、ペット同行避難、自宅避難について認識していただけた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 他団体との交流や協力ができたことで、さらに広い地域へ啓蒙活動を行うことができた。町会・自治会の方々の協力があり、ペット同行避難訓練を行うことができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.73 団体名 大山みちおこし委員会	事業名称 大山道場(大山街道の宿場町として発展した用賀エリア周辺の歴史の伝承)
補助金使用額 169,633円	内 容 1. 「大山街道歴史散歩」と題した歴史散歩パンフレットを作成し地域の方へ配布(11月、1回/年) 2. 大山街道歴史散歩の講演会・歴史散歩を開催: 専門家による街道の説明を聞き実際に歩く(11月、12月予定 2回/年) 3. 玉川台区民センターロビーで用賀を中心とした地域の歴史と魅力のPR・伝承となる展示会開催(令和7年2月末～3月予定 1回/年) 4. 世田谷郷土資料館・川崎ふるさと館が企画する講演会等に参加し交流を図る(9月～12月予定 1回/年)
補助事業に要した経費 175,951円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 地域の方を募集して歴史講演会と歴史散策を開催し、多くの方に参加していただいた世田谷郷土資料館や川崎ふるさと館の見学など日程が合わずできなかった企画もあったが、玉川台区民センターでの展示会も多くの方に見ていただけた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 町会回覧で web を使用しない方への周知ができた。玉川区民センターロビーでの展示では、区民センターの来場者へのPR周知ができ、パンフレット等のご要望や感想をいただくことができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.74 団体名 上用賀一丁目まちづくり協議会	事業名称 災害に強く、暮らしやすい環境作りとハートフルで愛着の持てる地域愛と絆作り
補助金使用額 165, 773円	内 容 私学である高等学校の1室をお借りし、毎月スタッフ会議を開き、事業計画を遂行する為の話し合いをしています。その結果を地域住民に周知するために、「上用賀一丁目まちづくりニュース」を発行し、一丁目内の各家庭にスタッフがポスティングをして行事予告・報告・地域情報を発信しています。住民が知りたい事を学ぶ、専門家による「講演会」、防火・防犯に向けた「子供パトロール」「年末パトロール」、地域住民の交流・研修を図る「バス交流会」、家にこもりがちな高齢者の野外活動に向けて、町会と共催で行う「グラウンドゴルフ」など、数多くの事に取り組んでおります。
補助事業に要した経費 528, 153円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 「講演会」「子どもパトロール」「年末パトロール」そして6年ぶりに再会した1丁目住民や地域住民などの住民間交流を目的とした「バス交流会」の開催が帰ってきたことが良かった。コロナ前とは経済、環境状況が変わったがそれを乗り越え、かつての事業を再開できた事。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 今まで共に開催していた一つの事業が諸般の事情で開催不可能になっても、知恵を出し新たな事業を共に開催できた。

令和 6 年度 実績報告書

No.75 団体名 用賀地区安心・安全推進会	事業名称 安心・安全なまちづくり推進のため、町会相互の協力及び助け合い
補助金使用額 79,963円	内 容 町会・管理組合や地域活動団体等と共に安心安全の啓発等の充実を図るために活動します。現在、考えている取り組みとしては、防災（在宅避難や事前の備えなど）や交通（自転車のマナーや歩行者等の事故防止など）、防犯（犯罪対策や犯罪被害の防止など）等の分野について、地区内で協議して作成したチラシを地域に向けて発信することです。また、地域の共通課題に備えるために、「講演会」の開催を通して、住民自らが考える力を強化するとともに、専門知識の定着を図りたいと考えています。
補助事業に要した経費 79,963円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 4町会・自治会の活動の場としている地域内の団体、小学校、中学校の協力を得て、災害への防災意識・交通ルールに関し、共通の危機・安全への認識を得た。

令和 6 年度 実績報告書

No.76 団体名 陽果会	事業名称 希望 絆 感謝 ～のんびり ひととき～ おたがいさまの会
補助金使用額 245, 000円	内 容 1. 支え合い交流活動(予約もいらず誰でも参加できる会を月に1回程度、用賀まちづくりセンター3階活動フロアを中心に開催。親しく集い交流。一緒にひと時を楽しむ会。情報交換や演奏会、歌う会などを実施) 2. 犯罪被害者支援ホンデリング(古本を通じて犯罪被害にあわれた方々を支援する活動) 3. 交通安全朝顔プロジェクト(交通事故被害児童の残した朝顔を育て、その種を交通安全の願いと共に身近な方にお分けする活動) 4. 性別年齢も肩書きも全て取り払って平らかにお互いにさりげなく、おたがいさまと気遣い合うことを大切に活動する。
補助事業に要した経費 270, 110円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 ・企画・広報について関係者からご助言を頂き、活動にも関係団体に協力頂いた。町会には回覧板や掲示などにご協力を頂いた。 ・年齢の幅や立場など様々な方々にご参加を頂き会話を通じて相互理解が生まれている。 ・同時開催の能登半島地震チャリティライブや犯罪被害者支援ホンデリング、交通安全朝顔(けんちゃんの朝顔)プロジェクトへの関心、ご理解、ご協力が参加者からあり、輪が広がった。 ・参加者から茶会に来るのを楽しみに参加している。自分の体験と重なって嬉しい、同じ思いの方々と仲良しになって話ができ楽しい。スーパーや道で会ってお喋りをしているとのお話があった。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

1. 町会活動に参加を申し出る人があった
2. PTA の人が町会活動などボランティア活動に関心を持ってくれた
3. 地元小学校の行事に参加した人がいた
4. 犯罪被害者支援活動に関心・協力が参加者からあった
5. 自分の体験と重なって茶会を愉しみにしているとの声があった

令和 6 年度 実績報告書

No.77 団体名 アクティブチャイルドクラブふたこ	事業名称 運動を通じて、ストレスに負けない心と身体をつくりましょう！
補助金使用額 245, 000円	内 容 主に多摩川河川敷の公園や小学校の体育館で、未就学児・小学生を対象に様々な運動やバドミントンをします。単に、年齢や体力レベルに応じて「運動基礎能力」を発達させるだけでなく、異文化(外国人のこども)や様々な学年が集まって運動することにより、自主性や多様性も身につけます。近年、習い事の多くは、学年ごとにクラス分けされている為、上級生の動きを見て真似る、下級生に教えてあげる、などの機会が極端に減っており、そのようなコミュニケーションも大事だと考えて運営しています。また、季節の催し物をしたり、書初めなど日本の文化活動も行い、子供から大人まで地域住民が繋がりを持って楽しめる工夫をしています。
補助事業に要した経費 695, 483円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（ 学校開放イベント参画して、当日はスタッフとして協力した。 ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 地域と一体となった二子玉川小イベントにて、計画段階から連携し、当日もスタッフとして協力できました。

令和 6 年度 実績報告書

No.78 団体名 NPO法人せたがや水辺デザインネットワーク	事業名称 せたがや水辺の楽校あそびの日と多摩川子どもシンポジウム in 世田谷
補助金使用額 197, 931円	内 容 年間を通じて、毎月第1日曜日に専門家を講師に迎え、地域の自然（多摩川・野川・河川敷・国分寺崖線など）で子どもたちを含めて観察会を行い、年間の活動の集大成として、2025年2月、多摩川子どもシンポジウムin世田谷を行う。講師には、自然環境やまちづくりの専門家(予定)を迎え、子どもも、大人も同じテーブルで語り合える場を作る。
補助事業に要した経費 227, 931円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 例年どおりの遊びの日の活動をほぼ計画通りに開催することができ、年間の参加者数はのべ約350名だった。シンポジウムでは発表者の年代が広がり、内容也多岐にわたり、専門家との活発な意見交換、交流も実現できた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 せたがや水辺の学校遊びの日にスタッフで参加いただいたり、特にシンポジウムでは、専門家以外の多くの地域の大人の方に参加いただき、世田谷区の会場提供という協力を得られたこと。

令和 6 年度 実績報告書

No.79 団体名 お舟会	事業名称 2024 ダンボールボート&カヌー体験会・川と遊ぼう！
補助金使用額 234, 710円	内 容 イベントは、2日間実施します。幼稚園、小学生とその保護者を対象にダンボールボートとカヌー乗船体験会を開催します。内容は、10月13日(日)にダンボールのボード組立キットを準備し親子の方々とワークショップ形式で組み立て、野川に浮かべて乗っていただきます。10月12日(土)と13日(日)の両日、本物のカヌー乗船体験会を実施します。川遊びの安全確保は、一般財団法人エコロジカル・デモクラシー財団様の指導の元、川に対する勉強会を行います。ライフジャケットもご用意して地元で活躍されている二子玉川カヌー部メンバーがサポートし、安全対策も強化します。開催までに材料の準備、参加者募集をするための告知活動を行います。ボート制作では、紙業の企業様に参加を呼びかけ、地域住民以外の協力とネットワークを広げていきます。廃材は、地域のイベントでアート作品に活用予定です。開催後は、問題点、効果があったことなどを挙げ、次回につなげていけるように地域の絆を深める活動にしていきます。
補助事業に要した経費 239, 890円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

玉川町会でのポスター掲示を通じて地域住民への認知機会を創出し、二子玉川カヌー部との協力により、地域住民との絆強化や拡散力の向上に大きく貢献できました。

令和 6 年度 実績報告書

No.80 団体名 スマイルひろば	事業名称 アパート住民及び近隣住民の地域交流と見守り体制づくり
補助金使用額 116, 730円	内 容 区営3丁目アパート敷地内の花壇や隣接する緑道に花を植え、定期的にラジオ体操を開催する。また、社会福祉協議会と連携し、交流会などを開催する。そのほか、七夕の会やクリスマス会を実施する。このような事業を通して区営玉川3丁目アパートの住民と近隣住民や保育園等との交流を図る ・ラジオ体操：毎週月曜日・木曜日（雨天中止） ・寄せ植え講習会：6月と11月 ・七夕会：7月 ・クリスマス会：12月
補助事業に要した経費 116, 730円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 一人では出来なかったことが、協力連携することで大きな楽しみに繋がり、心も豊かになる。

令和 6 年度 実績報告書

No.81 団体名 瀬田町会	事業名称 瀬田ふれあい運動会
補助金使用額 0円	内 容 運動会をとおして、地域の方々、子ども達、保護者と共に、競技することによってふれあい、顔見知りになっていく目的があること。また、学校部活紹介ルレーや地域コミュニティー団体、町会、商店会等紹介もプログラムに含まれており、地域で顔見知りになり地域ネットワークを構築していき、見守り、防犯、防災に強い街づくりを目指します。参加者数1,000名予定 日時 令和6年11月3日 日曜日(予備日11月4日) 場所 瀬田ちゅうがっこう校庭
補助事業に要した経費 534,402円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 運動会をとおして、地域の方々、子ども達、保護者と共に、競技することによってふれあい、顔見知りになっていくことができた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（ 小・中学校・近隣幼稚園・保育園に掲示をお願いした。 ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 各団体積極的に行動していただきました。

No.83 団体名 特定非営利活動法人玉川にエコタウンをつくる会	事業名称 旧玉川高校跡地を二子玉川近隣住民が集う場として再生。未来につなぐ事業
補助金使用額 186, 829円	内 容 私達は高齢者や子供達が安心して過ごせる場所作りを目指して旧玉川高校跡地の利用法をテーマにワークショップや専門家による講演会などを開催してきた。そこでは図書館など様々な案がでた。今年度はそれらの案を纏め、さらに4月から7月までに実施した活動を加えた冊子をつくり、仲間獲得の対象を広げる。 同時に玉川地区のみどりの魅力を紹介してきたグリーンマップの改訂し区民に玉川の自然を再確認して貰う。作成した冊子やグリーンマップは町会、エリアマネジメンツ、商店街にも周知の協力を依頼する。また最近各地で課題となっている緑の保全についての啓発的な映画（杜人環境再生医の挑戦）を上映し住民と考える機会を作る。
補助事業に要した経費 213, 829円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（玉川にエコタウンをつくる会のメンバー8人が自宅エリアの人達やマンションの住人に冊子を配布。）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

冊子への「応援者」掲載依頼に対して、予想以上の皆様(15人)から賛同を得たこと。また配布に関しても「追加配布」を申し出て下さった方たちが数人いたこと。

令和 6 年度 実績報告書

No.84 団体名 TAMAGAWA BREW 事務局	事業名称 多摩川河川敷で地域のつながりをつくる イベント TAMAGAWA BREW vol.6
補助金使用額 245, 000円	内 容 2024年10月12, 13日の2日間、多摩川河川敷のオープンスペースに、近隣地域や多摩川流域で活動する多様な主体が様々なコンテンツを持ち寄って、くつろぎ・交流・体験・発見にあふれるイベントを実施する。具体的にはまき割り、DIY(トンカチ村)、カヌーなどの大人も子供も楽しめる体験や多摩川の野草教室、地元の飲食店の出店などを予定している。(出展者として参加できる機会を広く開きながらも、公共空間を使ううえでの配慮や出展者どうしの関係性づくり、来場者との交流の大切さなどに共感してもらったうえで、出展者と一緒にイベントをつくっていく。
補助事業に要した経費 355, 219円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 例年より、日程確定、キックオフを早く行ったこと。前年度、日程を1か月前倒ししたことで暑すぎて気候が屋外イベントに適していなかったことを踏まえ、日程を10月としたこと。 当日の気候が良好であったこと。 により、工事中のう回路により会場までのアクセスが悪い中、たくさんの来場者が来て楽しんでくれた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 半年前から二子玉川エリアマネジメントには共催として参加してもらい、事前の広報から当日の準備・撤収まで連携を図ることができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.85 団体名 二子玉川大山みちフェスティバル実行委員会	事業名称 大山みち周知活動(二子玉川大山みちフェスティバル)
補助金使用額 245, 000円	内 容 地域活動を行う団体・住民が協働して、地域の資産である「大山みち」を周知する活動を行う。10月下旬に、大山みちが通る商店街に、二子玉川小学校の児童が作成したフラッグや絵とうろうを展示する。また、10月末に、大山みち沿いの二子玉川小学校を会場とし、誰でも参加できるフェスティバルを開催する。 それぞれに地域活動を行う住民等が、一緒に活動することにより、まちの歴史を伝承し、互いの専門を活かして地域を活性化する。
補助事業に要した経費 445, 009円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 大山みちに飾とうろうを増やし絵とうろうを新しく、大山みちの風景を彩どることができた。メインの活動となるフェスティバルも、開会式では小学校・高校の演奏を中心に充実した内容となり、イベントもどなたでも楽しめる内容を検討しながら実施することができた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 新たに参加できる団体も増え、それぞれに考え協力して活動を行うことができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.86 団体名 ママ夢ラジオ世田谷	事業名称 世田谷区で毎日の子育てを楽しもう！
補助金使用額 31,878円	内 容 9月、3月の防災意識の高まる時期に、親子・プレママ・子育てに関わる方を対象に、子連れでも楽しめるマルシェを開催。世田谷区在住のママ防災士をゲストに子育て世代だからこそ必要な防災に関する講演会をメインに集まった方同士の交流会、子どもも楽しめるワークショップ等も同時開催。主催関係者はすべて世田谷区在住ママなので、子育てに関する地域の情報交換や提供が可能。孤育てにならないためにご近所ネットワークを構築していきます。具体的には地域の町会、消防団の紹介、こそだて広場や児童館情報提供。子ども食堂の情報提供、地域の催しものの参加の誘致等
補助事業に要した経費 31,878円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった C	その理由 助成金の申請が決定してから、イベントの開催までの日にちがタイトすぎて間に合わないことが多々出て切きてしまった。 時間のない中行ったが内容は充実したものではあった。 集客に苦戦をしたので想定の来場者数に達することができなかった。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（チラシの配布・防災食品提供・ブース、コーナー出展。 ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 町会自治会、商店街は連絡しても返答がないところも多く連携数が思いのほか少なかったが、逆に地域で活動している団体、企業との連携を取りイベントを盛り上げるためにご協力いただきました。世田谷区以外にも広がり防災食の提供も頂けた。

令和 6 年度 実績報告書

No.87 団体名 「こどもとわたし」“元気の日”	事業名称 まったりカフェ
補助金使用額 191, 191円	内 容 平成27年度より継続している「まったりカフェ」事業は（年4回開催）主に深沢8丁目シェアスペース深沢に於いて、地域の乳幼児、子どもとその親が自由に参加し、支援者や地域の方々、参加者同士が、食や遊び、講座などを通じて自然に楽しく交流する活動である。子育てサロンではあるが、0歳から小学生と保護者まで、柔軟に受け入れている。
補助事業に要した経費 203, 431円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（ 社協のイベントにおもちゃなどを貸出しをした。 ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 地域の町会に協力し、子ども祭りにおいてスタッフとして活動できたこと。また、地域の子どもたちに向けたこの行事を事前周知し、多くの親子の参加があったことで、地域に暮らす若い子育て世代の、町会の活動への理解も深まったと思う。

No.88 団体名 桜新町親和会	事業名称 多世代間が交流する街づくり
補助金使用額 245, 000円	内 容 ・クラブ活動(ボッチャの会)を定期的を開催することにより、多世代のコミュニケーションの場を作る。 ・ゴミゼロ運動では近隣の学生をはじめ5団体が参加し、呑川、桜並木等の清掃活動を通して地域の交流をはかる。 ・天体観測会では高校の天文台設備を利用し、高校生、子供たち、PTA、講師等と地元で見える星空を体験し子供たちの夢を育む。 ・落語会を実施して地域の高齢者を中心に笑いと会話の機会を作る。 ・こどもまつりでは12団体が協力し、中心の実行委員会として活動することにより、地域の子供たちとの交流をはかる。 ・『親和会だより』を発行し、地域の歴史や話題、町会のイベント、事業内容を広く知ってもらう。
補助事業に要した経費 374, 726円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった A
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

どの団体も非常に協力的で、各行事ごとに楽しく仕事をした。来年度の参加も申し出ていただいている。

令和 6 年度 実績報告書

No.89 団体名 NPO法人 世田谷スポ・レクネット	事業名称 障がいのある人ない人、年齢問わずみんなでUniスポ・レク活動で仲間づくり
補助金使用額 224, 429円	内 容 年齢や障がいの有無にかかわらず、人々は共に楽しみ、交流できるユニバーサルスポーツ・レクリエーション(ボッチャ、卓上バレー、車いすテニス、ボウリング他)を区内の公共施設にて開催しています。定期的に2か月に1回「uniスポ・レク体験交流会」や秋には貸し切りバスで「せたスポーツツアー-」をはじめ毎年2月には車いすテニスのパラリンピアンを講師に迎え「みんなでテニス」を開催します。みんなでテニスは車いすテニスの楽しさや奥深さが体感できます。Uniスポレクは参加者、スタッフが楽しさを共有し互いに多様性を理解し合う交流の集いです。
補助事業に要した経費 669, 319円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 コロナ禍の終息に伴い、各イベント参加者も予想以上に増えた。活動が地域に根付いてきたと感じられた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他 (地域社協の広報誌に掲載された。)	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 同じ目的の共有と信頼関係が深まり、スムーズな協力体制を築くことができた。特にボッチャせたスポ杯には世田谷区スポーツ振興財団をはじめ多くの団体などと協力・連携ができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.91 団体名 正しいラジオ体操普及隊	事業名称 正しいラジオ体操の普及
補助金使用額 112,844円	内 容 ・ラジオ体操を通して、地域の交流と絆を深め、仲間意識の促進を図る。 ・児童生徒や地域住民及びスポーツ団体に、正しいラジオ体操の普及と習慣づけを図る。 ・健康に関心を持ち、維持促進の気持ちを育てる。 ・夏休み中学生ボランティア講習会(1回) ・地域のための講習会(年3回)
補助事業に要した経費 112,844円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 コロナ禍以前のように参加者も増え、運動する喜びを感じた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 皆さんが率先して参加協力していただいた。

令和 6 年度 実績報告書

No.92 団体名 東深沢小学校 おやじの会	事業名称 おやじの会が取り組む、子供たちと地域の大人たちとの、地域交流
補助金使用額 210, 123円	内 容 1. 2024年6月に東深沢小学校で在校生を対象にスポーツゲーム大会を実施 2. 2024年7月に地域住民を対象とした深沢公園のお祭りで屋台の手伝いを行う。 3. 2024年8月に世田谷区主催の多摩川いかだレースに東深沢小学校在校生で出場 3. 2024年10月に東深沢小学校で在校生を対象に1泊2日の”学校でキャンプ”を実施 4. 2024年12月に東深沢小学校で在校生を対象にクリスマスに向けた工作品を作成する工作教室 5. クリスマスに向けた工作品を作成する” 工作教室” を実施 6. 2025年3月に東深沢小学校で在校生を対象に東深沢小学校から羽田空港へのナイトウォークを実施
補助事業に要した経費 914, 568円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

連携団体のイベントに積極的にスタッフとして参加し、また当会主催の事業にも多方面から協力を得ることができ、期待以上の連携が実現できたため。

令和 6 年度 実績報告書

No.93 団体名 東深沢中学校 おやじの会	事業名称 おやじの会が取り組む子供たちと地域の大人たちとの地域交流
補助金使用額 91, 092円	内 容 ・世田谷区主催のいかだレースへの出場 ・お祭り等、地域のイベントでの屋台等の手伝い ・3月に中学生と地域の大人を対象に中学校で防災キャンプを開催
補助事業に要した経費 97, 732円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった C	その理由 事業初年度であったため、実際に事業を進めていくにあたり、想定通りに進まないことが多かったため。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板上に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 当会単独で開催が厳しくなった防災キャンプを等々力小おやじの会等と共催で開催できた。また、予定していなかった東深沢小学校おやじの会のイベント連携も実施できた。

令和 6 年度 実績報告書

No.94 団体名 東深沢町会	事業名称 子供も大人も みんなダンシング！
補助金使用額 244, 902円	内 容 7月20日、深沢公園で、地域の住民の方々を対象に、子供たちが楽しめるゲームや、自然と体が動き出すような曲を流してみんなで踊ったあと、後半は中央に太鼓を置き、踊りが得意な地域の方とともに伝統的な盆踊りを行う。 実施に当たっては、PTA、深三会、東美会などがゲーム、模擬店、踊り指導や、近隣の交通の妨げにならないよう、自転車で来た方などの誘導をおこなうなど、相互に協力・連携することで地域の活性化につなげる。なお、町会の活動として実施していることをアピールし、町会としての一体感を持つためにユニフォームを作成する。
補助事業に要した経費 588, 204円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 第1部では、町会の希望で決めた曲を流し、子どもたちが楽しめるゲームを東深沢小学校PTAのお手伝いのもと実施した。第2部では、東美会の踊りに倣い昨年より多くの方々が盆踊りを踊った。深三会は焼き鳥店を出しお祭りに色を添えてくれるなど、地域の各団体の協力のもと大変盛り上がったお祭りが実施できた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 連携団体の東深沢小学校 PTA、深三会、東美会、東深沢商店街振興組合とも、緊密に連携しながら実施できた。特に、後半、雨がちらつき始めて継続が危ぶまれたが、盆踊りの東美会の方々が、浴衣が多少濡れても継続したいとの強い意向があり、結果的には大変盛り上がりると同時に絆も深まることとなった。

令和 6 年度 実績報告書

No.95 団体名 深沢・桜新町さくらフォーラム	事業名称 景観・環境・歴史等の理解を深め地域への親しみや絆を広げる
補助金使用額 187, 076円	内 容 これまでに当補助金を受け、情報誌「ニュースレター」を年2回発行し、今年度も同様の発行を計画しています。引き続き地域の景観・環境・歴史や地域の話題等の理解や親しみの醸成を図り、また樹木医の講師を招請し「みどりの観察会」(10月開催予定)や桜や桜並木についての知識を得、地元の住民の皆さまと共に学び・話し合う機会として、「桜並木探訪会」(3月開催予定)を持ちたいと考えています。また、呑川親水公園、桜並木の清掃活動の定例化により地元の方々に地域の景観・住環境の保全に対する関心を持っていただきたいと考えています。
補助事業に要した経費 187, 076円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 ニュースレターを年2回発行し、行事「樹木医と歩く深沢の屋敷林」を主催、また会員による呑川親水公園側道清掃、クビアカツヤカミキリムシから桜を守るための啓発や見守りなどの活動を実施。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 例年協力・連携させていただいていた桜新町親和会に加え、3月に主催した「深沢の屋敷林を見る会」にあたり、三友会と協力・連携し成果をあげれた。

令和 6 年度 実績報告書

No.96 団体名 深沢ぎんなんまつり実行委員会	事業名称 深沢ぎんなんまつり
補助金使用額 245, 000円	内 容 深沢ぎんなんまつりは、2024年11月24日(日)、深沢小学校にて、小学校関係者と地域団体の有志が協力し準備をおこない(小学校で採れたぎんなんを有志のメンバーで剥き、当日配布)開催する祭り。模擬店やステージイベントも行います。どなたでもご来場いただけます。
補助事業に要した経費 281, 289円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 地域の絆を深める時間を作るために企画しています。評価としてはコロナ後2年目の開催でしたが協力体制が元のように戻ってきたとは思えません。このイベントを通じて顔見知りが増えて、助け合いや、地域防犯・防災にも取り組む基礎をつくるも目的にはまだ時間がかかると思っています。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他 (町会の会議でぎんなんむきの協力者を募ってもらいました。)	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 目標以上に協力・連携できたとは思えません。日曜日にイベントを行うだけでしたら難しくないのですが目標は地域親睦なので町会・子ども・学校・保護者と地域が一緒になってお互い協力する地域親睦を目的としています。まだです。

令和 6 年度 実績報告書

No.97 団体名 みしまの森学舎 あいさつ運動推進委員会	事業名称 学校・家庭・地域の三位一体でのあいさつ運動
補助金使用額 46,826円	内 容 みしまの森学舎のあいさつ運動推進委員が中心となり、学校・家庭・地域に呼びかけ、あいさつ運動の普及・推進を図る。 ①毎月1回推進委員と協力者がベストやリボンを着用して、校門や交差点などの街角に立ち登校する児童生徒及び通行中の方々へあいさつ運動を実施する。 ②校門や街角に「あいさつ運動実施中」ののぼり旗を立て、学舎エリア全域で運動を展開する。 ③児童生徒に「あいさつ運動ポスター」を募集し、学校周辺や町会の掲示板に掲示する。 ④また、ポスターの絵を使用し年2回チラシを作成。全児童生徒に配布する。
補助事業に要した経費 68,364円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 ・例年通り、学校・家庭・地域によるあいさつ運動ができた。 ・学校行事の日程に合わせてのポスターコンクールが実施できなかった。 ・推進会議の開催ができ、有意義な意見交換ができた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 夏休みを除く毎月あいさつ運動を実施することができた。今年度は、各校のあいさつ運動実施日の調整が難しかったが、来年度は、各校同日に実施できるように調整をお願いし、協力団体とともにあいさつ運動を継続していきたい。

令和 6 年度 実績報告書

No.98 団体名 みんなのコミュニティさくら	事業名称 みんなのコミュニティカフェさくら ～桜の木の下で0歳から100歳をつなぐコミュニティ～
補助金使用額 121,618円	内 容 花とみどりの豊かな庭のある深沢の住宅の一角を、地域にひらき、誰でも気楽に立ち寄って、”誰かさんと一緒”に過ごすことのできるコミュニティ-カフェを毎月（基本的に第二土曜午後）開催します。心も体も和む手作りのお菓子とお茶を味わったり、みどりや花を活用したもののづくり(手工芸)や四季の歌を教わったりする時間を提供します。高校教師・桜新町商店街での喫茶店店主を経て、現在訪問介護福祉士（高齢者・障害者）でもあり、民生委員・児童委員を務める代表が、くらしの情報を提供したり、相談に応じたりすることもできます。
補助事業に要した経費 159,114円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 毎月の開催が達成でき、会話・飲食・手工芸によるコミュニケーションの場となり、地域の居場所となったことから。今年度はそれらに加え、季節の歌を講師に教わり、共に歌うという活動もできたため。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった C	その理由 町会や団体の事業にスタッフとして協力できたところもあるが、予定していた団体の行事で協力に行けなかったところもあるため、来年度以降より多くの団体に協力したいと思っています。

令和 6 年度 実績報告書

No.99 団体名 祖師谷子ども健全育成の会	事業名称 子どもの安全・安心 且つ 健全育成
補助金使用額 117,837円	内 容 町会自治会・祖師谷小保護者・地域住民の協力で毎月初めに行う「見守りあいさつ」キャンペーン、子どもたちに関わる多くの団体が参加・協力して7月の3連休初日に行う「そしがや夏まつり」、町会自治会と児童・教職員と一緒に12月の「地域清掃」、祖師谷小児童・保護者・教職員等に読み句・絵を募集して作製した『そしがやいろはかるた』を使い、3月に行う「かるた大会」、お世話になっている地域の方々をお招きして実施する「ふれあい給食」等、子どもたちが地域の中で温かく見守られ健やかに育まれていく取り組みを通して、子どもと地域の大人が“顔と顔で繋がる”をコンセプトに、事業・活動を行う。
補助事業に要した経費 119,622円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 企画の段階からしっかり関わってもらえて、事業実施の際も準備から片付けまでスタッフとして協力してもらえた。思うように活動が出来なかったコロナ禍を経て活動が復活し、活動が出来る喜びを共有でき、絆がより強くなった。

令和 6 年度 実績報告書

No.100 団体名 一宮庵成城クラブ	事業名称 一宮庵で集う会
補助金使用額 143, 149円	内 容 手を動かしながら、定期的に集まることで関係性を深めることができる「お花の教室」を5回開催する。多世代で笑いながら楽しい期間を過ごし、元気になれる笑いのプロによるライブおよび活弁上映会を開催。どちらも出演者と会話を交わして一緒に楽しむ参加型のプログラム。日常のことを講師と参加が話し合い乍らおもしろい歌にして表現する。映像をみて教えてもらいながら役者のように表現することを学ぶ自治会や商店街に呼び掛けを行っている。
補助事業に要した経費 146, 070円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 近隣の未就学児対象の塾の方々と地元のお年寄りが世代を超えて触れ合う事が出来、心から笑いあえる楽しいひと時を提供できた。地域の活性化に役立つ場所になれた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 成城百年祭行事の事もありあらためて地域の方々との交流が増えた。

令和 6 年度 実績報告書

No.101 団体名 成城フラワーメイト	事業名称 お花でつながる成城の輪
補助金使用額 62, 995円	内 容 成城ホール入口のポット、富士見橋の花壇の植栽と手入れを年間通じて必要に応じて会員が行っています。さぎ草講習会(2月、7月)、寄せ植え講習会(12月)を地域の方たちに区の広報誌・自治会報で行います。
補助事業に要した経費 90, 095円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 花壇については無理なく活動が出来、花も一年を通して絶やさずにいた。寄せ植のサロンも盛況だった。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板上、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 2回のフラワーサロンを共催できたため。

令和 6 年度 実績報告書

No.104 団体名 希望丘小学校とと会	事業名称 地域の子供達の明るく 希望あふれる未来へ向けた 父親と学校・地域との連携事業
補助金使用額 205, 477円	内 容 希望丘小学校在校生の父親が中心となり、子供達の健やかな成長と地域の健全なる発展を目指した事業を展開する。 ・地域行事・防災訓練の運営・参加協力を通じた地域との交流 ・地域と学校の保護者・子どもをつなぐスポーツ大会やワークショップの開催 ・地域行事・学校行事におけるパトロール ・オール世田谷おやじの会、世田谷区小学校PTA等が主催するスポーツ大会へ参加し、他団体と交流を行う ・活動計画検討会、活動報告会の開催など
補助事業に要した経費 224, 437円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 これまでのように、地域の団体と相互に協力連携ができたと考えている。

令和 6 年度 実績報告書

No.105 団体名 子ども広場実行委員会	事業名称 子ども広場
補助金使用額 73, 590円	内 容 船橋地域の学校、PTA、おやじの会、地区委員会、児童館、青少年交流センター、NPO法人世田谷ぶんか村PLACEなど、日頃から子どもに関わっている大人が集い研修を通しての絆を深め、それぞれの活動を理解し、応援し合える関係を築く。8月20日16時、27日17時から講演会(連続講座)を開催。講師は一橋大学大学院社会学研究科教授中田康彦先生。内容はこれから相談して決める。テーマ(仮)「昭和から令和への教育の返還」「令和の子どもたちのリアル」「これからの社会を生き抜くために」「未来の職業はAIが変える」「少し障害がある子の社会進出」「世界から遅れた日本」 補助金は子ども理解のための講演会費(講師謝礼)、ちらし、ポスターに使われる。
補助事業に要した経費 73, 590円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 研修を通して子どもを理解する機会を設けた。参加者同士が交流することによって子どもの成長を応援しあえる関係づくりができた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった C	その理由 参加者が少なかった。

令和 6 年度 実績報告書

No.106 団体名 「子どもぶんか村」発表会実行委員会	事業名称 第20回「子どもぶんか村」発表会
補助金使用額 245, 000円	内 容 「子どもぶんか村」7つのクラブが一年間の活動の成果を発表する。今年度の会場は船橋小学校。舞台・展示・ワークショップを工夫し、3/23(日)に開催する。各クラブから選出された子ども・若者と地域の大人で実行委員会をつくり、子ども・若者から実行委員長、副実行委員長、書記が選出され、およそ60人で運営していく。発表会を成功させるために、スローガンを決め、ポスターをデザインし、係決めをする。 司会、受付、会場、音響、照明、中継など自分のクラブ以外の全体の役割もにない、発表会を運営する。
補助事業に要した経費 447, 863円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 今年度が第20回という節目の年にあたり、お祝いの気持ちを込めた会場装飾や開会式プロジェクト、「子どもぶんか村」の子ども・若者たち全員がJr.オーケストラの伴奏で大合唱するなど、地域の方々からのたくさんのお祝いの言葉をいただいた。また、20周年記念誌を作成して全ての来場者にお渡した。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 子ども・若者の実行委員たちは年々活発になり、自由に意見を出し合う様子は大人たちをリードしているようにさえ思われる。地域の人たちは年代を超えた交流の楽しさから、町会のイベントにもつなげたいと感じているようだ。

令和 6 年度 実績報告書

No.107 団体名 総合型地域スポーツ/文化クラブちとふなコミュニティ	事業名称 ちとふなコミュニティ月イチイベント～地域住民とともに
補助金使用額 168, 598円	内 容 月に1回程度、船橋小学校の体育館や多目的室を使って、地域の高齢者からお子さんまで、地域住民の誰もが気軽に参加できるイベントを実施する。具体的には、バドミントン、卓球、ショートテニス、将棋大会など、初心者でも取り組みやすく、楽しめる種目を、主に休日の夕方に行う。また、5月は船橋・千歳台地域の町会自治体、PTA、その他地域の団体へ声掛けを行い、地域交流ボtチャ大会を行い、地域のつながりを深める。
補助事業に要した経費 176, 467円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 会員相互だけではなく、会員以外の方も多く参加があり、地域住民へのスポーツ推進を図ることができた。また、地域での当クラブの認知度を向上させることにつながり、本事業をきっかけに当クラブに入会した人がいた。幅広い世代の住民の参加があり、普段接することがなかった地域住民同士の新しいつながりが生まれた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 すぐる配信や町会自治会の掲示板、回覧で当クラブのイベントの周知にご協力いただいた。また、船橋・千歳台地域の町会自治会、PTA、その他地域の団体へ声掛けを行い、5月に実施した地域交流ボtチャ大会では、地域の団体同士が顔見知りとなり、つながりをより一層深めることができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.108 団体名 デ・バンデス	事業名称 千歳台を盛り上げよう！楽しんで暮らせる千歳台にしよう2024
補助金使用額 133, 076円	内 容 千歳台小学校在校生の家族、特に父親を中心に活動しています。子供たちが笑顔で元気に生活できる環境を千歳台小学校・めばえの会・廻澤町会・OB・地域の方々と協力のうえ、運営(サポート)しています。千歳台小学校地域のイベント等に積極的に参加し、地域の方々とコミュニケーションをとり、地域の子供たちの成長を一緒に見守っています。地域と小学校を結び付け、まだ気づいていない千歳台地域の魅力を発信します。取り組みとしましては、千歳台小学校入学歓迎避難所カレーパーティー&親子スポーツ大会(5月)、学校キャンプ(8月)などを行います。
補助事業に要した経費 133, 076円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 コロナ禍ではできなかった飲食を含めたイベントを行うことができ、千歳台小学校のイベントを盛り上げることができた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 町会の活動には、積極的に協力・連携できた。小学校のイベントでも、お互いに協力できた。

令和 6 年度 実績報告書

No.109 団体名 バージの会	事業名称 バージの会講演会／子育てサポーター講座
補助金使用額 78,085円	内 容 バージの会講演会は、船橋まちづくりセンターやその周辺で、地域の皆さんを対象に9月頃に開催予定です。テーマは地域の課題、地域史、暮らしの中での気づきの中から話し合いを重ねて選びます（令和5年度は児童精神科医の石川憲彦氏「みまもることば一寄りそう人になるー」）。また、子育てサポーター講座は、子育て世代を応援する地域の皆さんを対象に、1月頃に船橋児童館で開催予定です（令和5年度は教員の岡崎勝氏「子どもとゆっくりつきあうヒントーちいき暮らしで親子を楽しむー」）。
補助事業に要した経費 93,885円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった A	その理由 ・バージの会講演会では、地域に暮らす医療的ケア児の母親に、育児、教育、防災等について話していただいた。オハナキッズ(医療的ケアの必要な子どもの放課後居場所等)や、プレイ&リズム希望丘と連携し、地域の皆様、町会・自治会の皆様をはじめ、船橋まちづくりセンター、船橋児童館、船橋あんしんすこやかセンター他、多くの方と学びあうことができた。 ・子育てサポーター講座は、社会的養護の視点から子どもの居場所を考えるとというテーマで、元日大文理学部の井上仁先生と、社会的養護の子ども等への学習支援をしている桜んぼ塾の学生さんたちに依頼。子どもの居場所について、様々な視点から話し合った。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった A	その理由 講演会では、講演者を中心に、地域、自治会、児童館が連携できた。サポーター講座では、参加した児童が桜んぼ塾に通塾したいと話してくれた。二つの会は共に学びながら、暮らしの場での支えあいに繋がる会になった。

令和 6 年度 実績報告書

No.110 団体名 船橋会	事業名称 船橋地区防火・防災事業
補助金使用額 245, 000円	内 容 船橋会は運営主体になっている指定避難所（船橋小学校、都立千歳丘高校） における運営訓練および主催団体として防災ラリーをそれぞれ年1回開催している。 これらの訓練を通じて、実際に大災害が発生したときに、迅速な行動ができるような組織体制が組めるようになる必要がある。そこで、船橋会役員および関連団体の関係者の役割分担が参加者にはっきりと分かるようなモノを事前に準備し、必要なときは、いつでも着用できるように備蓄しておく。
補助事業に要した経費 344, 334円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 消防署、区役所職員の他に消防団、社協、日赤奉仕団などの地域団体、PTAなどの学校関係者、そして船橋会会員のみなさんと一体になった活動ができました。さらに防災体験ラリーでは、ケーブルTV局で活動の様子が放映され、防災活動の重要性をアピールできる機会を得られた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 防災体験ラリーでは、5ヵ所の会場を400名以上の参加者がラリー形式で廻ったが、2時間という限られた時間内で、様々な防災技術の指導および様々な防災設備の紹介を行うことができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.111 団体名 船橋小学校オヤジの会	事業名称 児童中心のイベントを企画、 開催することで船橋地区における結束を深める
補助金使用額 168,664円	内 容 ・小学校、公園、神社等で実施される祭礼・イベントに参加し、関係性を深めると共に開催中の防犯パトロールや運営のサポートに携わることでイベントの安全強化および主催者の負担軽減に貢献する。 ・地区防災訓練において、町会や他団体との連携を深めるだけでなく、本会としての有意義な貢献方法を継続的に検討、実施することで防災における意識を高める。 ・8月に実施をする主催イベント「学校に泊まろう会」では、児童に災害時の避難所を想定した宿泊訓練を体験してもらうことで、地域の防災対応力と、防災意識醸成を図る。（主な内容として、日中は防災学習、炊き出し、夜間は校内にテントを張った宿泊訓練を実施。） ・12月に実施する主催イベント「校庭パーティー」は学校の校庭で児童を対象にバーベキュー、たこ焼き、パンなどを提供している。地元地域のパン屋さんから仕入れているパン生地を使用した「遊ぼう棒パン」は児童が自分でパンを焼くことができる。PTA共催のイベントでもあり、地域住民である児童、保護者が学年を超えて交流を深める場として実施している。
補助事業に要した経費 415,664円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 弊会主催メインイベントである「泊まろう会」を昨年に引き続き宿泊を伴うかたちで実施することができ、227名の児童が参加をした。児童に災害時の避難所を想定した宿泊訓練や消火器訓練を体験してもらうことで、地域の防災対応力と、防止意識醸成を図ることができた。また、町会の防災活動行事に参加をすることで、地域防災力強化に貢献することができた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

町会主催のお祭り、防犯行事に参加をすることで、地域行事の活性化に貢献できた。今後も町会、地域活動団体と相互に協力を行い、連携強化に努めていきたい。

令和 6 年度 実績報告書

No.112 団体名 学び場いとをかし	事業名称 勉強だけじゃない様々な“学び”を通して地域でつながろう
補助金使用額 93,450円	内 容 ・月1回土曜日の午後、主に希望丘集会所にて ・児童の学習支援 ・折り紙、切紙など手先を使う遊びや、季節に合わせたレクレーションゲームなどを取り入れて、豊かな体験学習の機会をつくる。 ・学びを深めるために、地域の方を講師として呼びし、講座を実施する。(9月2月の予定) ・地域のイベント等に積極的に参加し、地域との結びつきを深める。
補助事業に要した経費 97,350円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 月によっては参加者が少ない時もあったが、口コミで登録会員が増えていった。プリント学習が定着してきた。学生ボランティアもよく参加してくれるのでとても助かっている。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（ 町会・自治会のおまつりで、チラッ等を配布した ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 細々と月1ペースで続けているが、活動に興味を持てくださる方も多く、他団体のスタッフとの繋がりも出来てきた。今後も居場所づくりの地域活動のひとつとして持続していきたい。

令和 6 年度 実績報告書

No.113 団体名 うなかふえ	事業名称 カフェを通じた多世代交流会
補助金使用額 82, 536円	内 容 毎週土曜日午後1:00～3:30まで宇奈根地区会館の一部をお借りしてカフェを運営しています。 どなたでも来ていただき地域の方々と顔見知りになり、コミュニケーションを深めてもらいたいです。 また年一回の講演会も行っています。
補助事業に要した経費 223, 595円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 カフェ事業は予定通りに出来、講演会も秋に行っていたが、春に行くことで、地域の行事とも重ならず予定していた参加人数が集まった。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板上に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 使用施設のこと、地域のお年よりのこと、それぞれ協力・助言をいただいた。これからも協力をお願いしたい。

令和 6 年度 実績報告書

No.114 団体名 喜多見わんわんパトロール隊	事業名称 喜多見わんわんパトロール隊の仲間づくり、まちづくり事業
補助金使用額 66,400円	内 容 愛犬と共に毎日の散歩時の地域のパトロールを行い、登下校時の児童の見守りや地域の防犯に目を配ります。また、犬と共に小学校や福祉施設を訪問し、地域の方々に動物とのふれあいの機会を作ります。犬を仲立ちにした仲間同士の繋がりを、地域の人々との関係に広げ、安心・安全なまちづくりのために暮らしやすい環境を育んでいくことを目指します。
補助事業に要した経費 208,590円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 散歩パトロール活動や様々な行事を通じて隊員と地域住民同士の関係を活性化することができた。特にあんしんすこやかセンターとの共催で「ペットと自分の将来を考える講座」では地域で考えなくてはならない課題の発見につながった。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 あんしんすこやかセンターとの共催企画で地域福祉に当団体が貢献できることを実感した。

令和 6 年度 実績報告書

No.115 団体名 砧南グリーンズ	事業名称 みずとみどりとみなみを見守る学校 ビオトープ作り
補助金使用額 223, 572円	内 容 砧南小学校の保護者・卒業生の保護者・地域の人が連携し、子どもたちと地域をつなげることで 子どもたちとともに安心して毎日を送れるよう、学校ビオトープを大人と子どもが協力して作る 「みんなのみなみ池ひろばの会」を毎月1回主に日曜日の午前中に砧南小学校の校庭の一角で開催する。 ひろばや校区内の自然観察とスケッチ、自然素材をデザインしたステンシル作成、夜の昆虫観察会などを実施する。 また年度の活動成果を多摩川子どもシンポジウムで、子どもたちに発表してもらう。
補助事業に要した経費 233, 572円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 活動場所である、砧南小学校で、理科委員会・SDGs委員会などが、児童主体で教員と一緒にビオトープに関心を持ち活動に参加してくれたこと。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 小学校とは、協力連携が十分にできたと思う。

令和 6 年度 実績報告書

No.116 団体名 野川ドッグエリアの会	事業名称 犬の飼い主を中心に地域ネットワークをつくり、防犯やマナー向上をめざす
補助金使用額 235, 417円	内 容 15周年を迎える小規模ドッグラン「ドッグランエリアのがわ」を毎月1回の週末、土日午後3時間ずつ実施します(8月をのぞく)。また、年数回しつけとマナーアップ講座を開催し、それらを拠点にマナー向上の啓発も行います。この「ドッグエリアのがわ」を発信地として、広くペットの存在も含めた防犯・災害対策も考えます。さらに喜多見北部町会や地域団体との連携を深め、防災活動や地域清掃で協力していきます。
補助事業に要した経費 326, 208円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 月1回の小規模ドッグラン「ドッグエリアのがわ」は16年目に突入。上昇を続ける年間利用者数はのべ1724名と前年比106%。1日100人以上の利用が6回。天候によって50人を切る日もあり屋外イベントの限界もあるが、リピーター増加など地域への定着は感じられる。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 街の清掃や防災イベントを共催。本来は目的が違う団体といっしょに活動することで、事業の在り方を見直すいい機会になった。

令和 6 年度 実績報告書

No.117 団体名 [ご当地]家族会	事業名称 地域の人と人との交流の場を創り、 思いやりや支え合う心を育てる事業
補助金使用額 107, 113円	内 容 落語道楽塾…月に2回、さろん砵家で希望者に、笑の伴う落語を教える。 清志凡・セミナー…3ヶ月に1回、さろん砵家で、中高生にPDCAを、外国人に日本語の日常会話を教える。 今・ご縁寄席…年に2回、砵町自治会大広間で、ご近所の人向けに寄席を開催する。 寄席・ぼんじゅう亭…年に2回、公共施設大広間で寄席を開催する。 節分豆まき隊…2月3日に、商店街で豆まきをして、チラシを配りながら練り歩く。 ご当地タレントスカウト大会…9月15日に祖師ヶ谷大蔵駅前広場で、芸能大会を開く。
補助事業に要した経費 159, 835円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった C	その理由 会長の体調不良があり、予定通りの積極的な活動が出来なかった。活動目的を少しに絞ったが、思うように宣伝活動が出来なかった。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

C

その理由

会長の体調不良も大きいですが、活動内容の絞り込みと具体的な魅力に欠ける点があると思われる。

令和 6 年度 実績報告書

No.118 団体名 砧むらおばちゃん会議	事業名称 くつろぎ処：おおがいさんち
補助金使用額 188, 944円	内 容 地域の人が年齢・性別に係わりなく、助け合う関係性を培うことで、高齢者が地域で元気に長生きし、子どもや子どもを持つ家庭にとっても安全で楽しい地域になっていくよう、長期的に継続できるようにしたい。砧むらだよりを毎月発行、おしゃべり会に多数参加し楽しい時間を過ごしている。「くつろぎ処：おおがいさんち」におけるおしゃべり会＋小さい歌う会が定期的実施できる。ここを中心に、グループホーム砧（砧4-25-2）、NPO煌めく返り花（砧4-26-1）の3団体で、「ぐるぐるキヌタ」を開催。地域をめぐって知り合いを作るイベントを年に3回開催予定。本年度は6月に防災口座をまちセン・町会と協力して開催する。
補助事業に要した経費 310, 280円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 ・さまざまなイベントへの参加者も多くなっているのは、高齢者にとって大事なコミュニケーションの場として、参加者が「しあわせ」を感じる場になっている。 ・防災（まちづくりセンター）、オレオレ詐欺対策（成城警察）、能登地震報告（笑恵館松村氏）などの講座を設定し、その目的を理解し、社会的つながりを得た。 ・児童館ともつながり、行事への参加などで交流、児童館の陶芸窯が壊れた折には、参加者から寄付を募った。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 毎月用意している「砧むらだより」を砧町の回覧板に入れてもらってきた。それを見て来た参加者もいる。ぐるぐるキヌタを楽しみにしている子どもたちが、学級会で「今日はぐるぐるキヌタがあります。みんなで遊びに行きましょう」と発言。意図しない連携が出来ている、

No.119 団体名 特定非営利活動法人煌めく返り花	事業名称 ぐるぐるキヌタと勉強で、世田谷で知り合いづくり
補助金使用額 148,067円	内 容 ぐるぐるキヌタは、世田谷区砧4丁目で活動する3つの団体が協働して開催するイベントです。 年間3回行い、子どもから90歳が参加します。団体のイベント会場がそれぞれ徒歩1分以内にあるという利を生かします。 3つの団体それぞれがイベントを行い、エンディングイベントは一斉に会し遊び踊りうたいます。 参加者は、3か所をぐるぐる歩き、各所で知り合いを増やしてもらいます。各団体の活動を知り、頼り先の一つにしてみたいと考えています。家族信託講演会は10月19日に世田谷区の公共施設で、世田谷砧を中心した地域に済む方々を対象に、村山澄江先生(司法書士)の講演会と参加者の対話の会です。
補助事業に要した経費 170,006円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
	その理由 5月:参加者が少なくなったのが残念だった。海外から生家がある砧に戻ってきたというご夫婦が参加され、NPOメンバーと両親が知り合いだったことが判明し、その後NPOのおひとり様研究会に継続参加された。 9月:酷暑の1日であったが、足水を準備しており、参加者は皆さん涼をとりながら準備していた相談コーナーを活用していた。参加者同士がつながり、その後一緒に買い物に出かけるなど見られた。クロージングイベントの巨大シャボン玉は市民の特技が生かされた上に、子どもも大人も高齢者も障害者も楽しむことができていた。 10月:家族信託の講演会を企画していた。国政選挙があり、会場が使えなくなったため、急遽事務所で行うこととなった。そのため予定していた人数よりもごく少ない参加者しか集まらなかった。一方、質問コーナーでは参加者同士が悩みを相談し合い、共感もあったため、参加者の交流は深くできた。 12月:松ぼっくりツリー作成コーナーでは、子どもも大人も参加し、集中して楽しそうに作品を作っていた。作りながらNPOの会員に両親のことを話したり、親同士が子育てについて話したり、進学について相談し合ったりしていた。クロージングイベントのダンスでは、通りがかりの方が足を止め、子どもがリズムを取り踊るなどもあり、来年も会いましょうと話していた。

他団体との協力・連携の方法

- ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。
- ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
- ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
- ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
- ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。
- ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。
- ☒ その他（ 団体を訪ね説明をし、配架をお願いした ）

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

協力連携団体と密な連携をとり、準備や告知を互いに助け合いおこなった。開催のうちに共に行う活動が増えている。またチラシ配架先から、追加配架の連絡をもらうなど配慮されている。協力連携団体から、砧地域で行われている活動の紹介を受け、参加するなど、協力連携の輪が広がった。

令和 6 年度 実績報告書

No.120 団体名 ハッピーリーフ	事業名称 「子どもキッチン」と「農業体験」で、食育と居場所づくり
補助金使用額 202, 332円	内 容 共働き家庭が増えている中で、子供たちが親の留守中でも簡単な料理を作れるようになって少しでも自立のお手伝いができるよう子供向けお料理教室『子どもキッチン』を定期的を開催します。2ヶ月に1会、平日の放課後に祖師ヶ谷大蔵駅から近い「サロン砧家」で小学生を対象に行います。お料理完成後は参加者全員で試食会を実施し、みんなで食事をするにより地域の人達とのふれあいの場と子供たちの居場所作りを目指します。 さらに年に数回、イベントとして農業体験を行います。農作業や作物についての講座を開催後、作物の収穫や植え付けなど農業体験を行い、子供たちに食育について学んでもらいます。
補助事業に要した経費 236, 500円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 年間予定通りの回数のイベント開催をすることができてよかった。チラシ制作前のイベント開催は告知が十分でなく、集客が難しかった。チラシ制作後、会場周辺に設置していただくと少しずつ認知度が高まり、会をかさねるごとに参加人数が増えていき、リピーターもできた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 砧地区は居住地域ではにので地域の方々と触れ合う機会がなかったが、この度の絆事業を通じて砧町町会、砧町自治会にチラシ掲示、配布の願いでお伺いし交流ができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.121 団体名 上北沢小学校おやじの会	事業名称 上北沢小学校の児童たちの健全育成
補助金使用額 152, 518円	内 容 学校や地域とも連携し、児童の健全な育成に寄与できる各種催事を展開します。 当会が主催で行う「おやキャン(9月)」は、防災に関する意識を高めるとともに、子どもたちが保護者から離れ、集団生活を送る体験を通じて、「自ら考え、周りとの協力できる力」を育むことを目的としています。防災に関する知識をクイズや謎解きで楽しみながら体験し、キャンプファイヤー、備蓄米を使用した食事、テントおよび体育館への宿泊などを行い、災害発生時から保護者が迎えに来るまで、子どもたちが避難所で安全に待機できるようにする力を醸成します。 また、「火の用心(12月)」では近隣の夜回りで火の用心を呼び掛けることにより防災意識を高め、安全・安心な町づくりの一助となることを目指しています。 その他、小学校・町会・児童館が主催する各種行事への協力・参加を通じて地域の活性化にも寄与します。
補助事業に要した経費 205, 528円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

地域のお祭りや学校の催し物など、町会や PTA と協同で、相互集客を行ったりスタッフとして運営を行い、参加した児童から高評価を得られた。

令和 6 年度 実績報告書

No.122 団体名 世田谷区立八幡山小学校おやじの会	事業名称 八幡山交流・地域ふれあい活動事業
補助金使用額 218,540円	内 容 町会、PTAと連携・協力した体制によって地域の子どもたち、住民参加による夏季「花火大会」を実施する。 「花火大会」を実施するにあたり、町会やPTAと企画段階から企画アイデアや地域住民各層のニーズを持ち寄り、密に連携することによって、町会、PTAとの関係性を深め地域運営のノウハウを共有するとともに、地域人材の育成や町会組織の活性化にも貢献する事業とする。 また、防災知識を共有するプログラムを組込むことで、地域住民の防災意識を高める
補助事業に要した経費 279,000円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 4回イベントを実施し、多くの子供達・ご家族に参加いただき、楽しんでもらうことができた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 主催の4イベント:花火大会は多くの子供達・ご家族・地域の方々に参加いただき大盛況でした。補助金の物品費は主に花火に利用させていただき、他はイベント告知にチラシやポスターを活用させていただいたおかげで多くの方々にご参加いただけました。協力した4イベント:地域のイベント参加協力を行う事で、おやじの会のイベントにも地域の方々が様々なご協力を頂くことができ、充実した安全なイベントの企画運営を行うことができました。

令和 6 年度 実績報告書

No.123 団体名 八幡山青年会	事業名称 八幡山青年会子ども囃子
補助金使用額 240, 000円	内 容 地域の小中学生を中心に子ども囃子を結成し、伝統芸能の祭囃子を演奏して、広く地域の住民に伝えている。毎週末の練習やイベントへの参加を通して、子ども囃子で活動する子ども達が学校の枠を越えた知り合いを増やし、その保護者はもとより、幅の広い年齢層の顔見知りも増やしている。八幡山の夏・秋祭り、八幡社の七五三、新樹苑のもちつき大会等で祭囃子を演奏し、イベントを盛り上げるとともに、伝統芸能の祭囃子を広めている。
補助事業に要した経費 258, 218円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 今年度は八幡山小学校で子ども囃子を披露することができた。地域の伝統芸能を絶やさない、と言う思いを八幡山小学校が理解してくださり、演じる子どもたちも大きな励みになったと思う。日々の練習を通して演奏する子ども達とその保護者を中心に地域での繋がりが深まった。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 伝統芸能でもある子ども囃子を広く多くの方に聞いてもらい、八幡山の魅力一端を知ってほしい。また、子ども囃子を通して地域の一員として地域活動に理解を深めてもらい、地域住民の交流を図り、地域の安心・安全の向上に寄与していきます。

令和 6 年度 実績報告書

No.124 団体名 親水テラス音楽会実行委員会	事業名称 絆をつなぐ” 音楽プロジェクト”
補助金使用額 245, 000円	内 容 地域の憩いの場である祖師谷公園の親水テラス周辺を会場に、地域団体による模擬店の賑わいとコンサートで構成する地域交流事業として、10月「いこいのコンサート」3月「さくらフェス」を開催し、地域の音楽グループの演奏を楽しみ、プロの演奏を堪能する音楽空間を創出します。 また、コンサートに出演する小学校または中学校の吹奏楽部を対象に「吹奏楽セミナー」を2月に開催を予定し、音楽に親しむ児童生徒たちがプロ奏者の指導と演奏に接する機会を作ります。保護者の方々には音楽を通したまちづくりへの思いを伝え、事業の支え手を広げる機会にしたいと思っています。
補助事業に要した経費 827, 653円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 自治会や地域団体と構成する実行委員会は、昨年3月開催の事業を自治会との同時主催したことで、地域の方々からの応援の声に励まされて連携が深まり、新たな参加団体を増やすことに繋がった。また、千歳小学校吹奏楽団での「吹奏楽セミナー」は、昨年と同じ講師に依頼できたことで、子どもたちの成長ぶりや具体的な感想などを顧問教師や保護者と交流できたことが意義深かった。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 地域の人や団体、公園などの地域環境を含めて、更には、特徴ある農産品や商品や企業および店舗の紹介や協賛など、本事業が取り持つ縁と交流が増えたことを実感した。

令和 6 年度 実績報告書

No.125 団体名 特定非営利活動法人芦花公園花の丘友の会	事業名称 花いっぱい公園づくりと活気ある地域活動の場所づくり
補助金使用額 125, 041円	内 容 花壇エリア内で開催する花の丘フェスタイベントは、開催月の第一日曜日下記の予定で行う。 子供向けのイベント、 ・7月一七夕まつり、短冊を飾ります。 11月一ハロウィン祭り、仮装大会をします。 12月一クリスマスイベントでランタンを制作を行う。区民、都民、その他の方々を対象としたイベント。 2月一餅つき大会、 3月一蘆花恒春園サービスセンターと共催で桜の花、菜の花まつり。 4月一チューリップ祭り。 6月一あじさい祭り。 9月一向日葵祭り。 10月一コスモス祭り。 一般のイベント時は外部(川場村、生協、ボランティア団体、個人店舗等)が参加をして来るので、来園者が大勢集まります。
補助事業に要した経費 205, 041円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 ・雨天時を除いて計画通りにイベントを開催することができた。 ・多くの区民の方々に花に囲まれた’ 日常’ と’ ハレ’ の場の両方を提供できた。 ・一部イベントの動線の改善等、昨年度の反省点を活かすことが出来た。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	

令和 6 年度 実績報告書

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

ポスター等の掲示やスタッフの手配等、ほぼ計画どおりに連携団体と相互に協力し、事業が完了できた。

令和 6 年度 実績報告書

No.126 団体名 芦花サポーターズ	事業名称 地域と芦花小学生・芦花中学生の結びつきを強め災害、防犯に強いまちづくり
補助金使用額 245, 000円	内 容 ・地域で開催される10月のイベントに中学のアコースティックギター部が参加しギターの演奏をする。区民センターイベントや学校行事(10月と1月の学芸発表会)で生け花の展示作品を地域の方と共同で製作を行えるようにする。 ・毎月、地域の方同士、地域の方による中学生、へのスポーツ指導や交流などをできるようにする。 ・4月、9月、1月の地域の方による小学生や中学生の通学時の見守りのお手伝いをする。 ・毎月、地域の方同士の交流をスポーツなどを通しての場をつくる。
補助事業に要した経費 336, 902円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 バドミントンによる交流は、予定していた回数より少し多く実施できた。そのことにより地域の人と子供との関係が深まったため。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 地域の方と中学生などの交流経験が、日常でも挨拶できる等の関係を築けた。

令和 6 年度 実績報告書

No.127 団体名 どんぐりのおうち	事業名称 楽しいこといっぱい!こども感動体験プロジェクト
補助金使用額 120, 050円	内 容 ①「こども」「保護者」「地域住民」との交流の場を創出し絆を深め、地域の活性化を図る。 ②蘆花恒春園をメインフィールドに こどもの居場所づくりをする。 ③誰もが臆することなく平等に集える公園で、こどもが主役となる、ハロウィンイベント(11月)、クリスマスイベント(12月)を開催する。 ④公園の木の実など、自然素材を使った工作教室を定期的に開催する。 ⑤こどもが感動する体験、経験をサポートする。
補助事業に要した経費 163, 339円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 12月に蘆花恒春園花の丘で開催した『こどもクリスマスパーティ』では、公園内で活動するボランティアが、団体の垣根を超え、みんなで知恵を出し合い協力できたことが成功の鍵となった。また、こども食堂からの来場者が多く、公園に来ることで、顔見知りが増えたことにより、繋がりができた！また行きたい！と、こどもたちからの嬉しい報告もあった。定期的にイベントを開催することで、こどもたちの居場所づくりにもなり、地域の方々が交流する機会も増えるので、楽しい場所として認知されるよう今後も継続していきたい。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 他団体と連携する事でできることが広がり、より大きな事業ができた。子どもたちや地域の方々とつながりながら、引き続き協力体制を深めていきたい。

令和 6 年度 実績報告書

No.128 団体名 烏山地域あいさつキャンペーン推進委員会	事業名称 烏山地域あいさつキャンペーン
補助金使用額 147, 000円	内 容 児童・生徒やPTA、地域協力者を含め、町会・自治会、商店街や公共機関などの協力・連携の推進により、商店街での街頭放送でのアナウンス、各校正門においてキャンペーンビブスを身に付け、のぼり旗を持ったり、掲げたりし、また、昨年度購入したキャンペーンフラッグを校内等に掲げ、あいさつ活動を盛り上げ地域ぐるみでPRを行っていく。開催日程としては、4・9・1月の長期休暇明けを予定している。
補助事業に要した経費 147, 000円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 地域と10校の小中学校が連携して、年3回のあいさつキャンペーンを実施することができた。通常よりも挨拶の声が交わされて本事業のねらいを達成するとともに、地域と児童・生徒の交流を促進することができた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 本事業期間中は、交代で各町会から地域の方々と各校児童・生徒が参加して実施を行うことができた。

令和 6 年度 実績報告書

No.129 団体名 給田小わんわんパトロール	事業名称 子どもたちの安全を見守り、犯罪に強い地域を作るわんわんパトロール!
補助金使用額 97,388円	内 容 地域の小学校の児童に協力をしてもらい作成したお揃いのバンダナを愛犬や飼い主さんが装着してパトロールしている。バンダナを見て子どもたちが「わんわんパトロールだ!」保護者は「ありがとうございます」と声をかけていただくことも多く、メンバー同士が挨拶をするということが日常的に行われている。[いきものとなかよし]という学校授業への協力も行っており、愛犬と児童が安全に触れ合えるようコミュニケーションの取り方を学ぶ「安全教室」も開催している。また保護者に不審者情報が流れるとPTA校外委員会から連絡が入り、メンバーに一斉メールでパトロールの強化をお願いしている。 愛犬が家族の一員というだけでなく、社会の一員として受け入れてもらえるようにマナーを守ってパトロールするように啓蒙を行っている。地域の小学校児童に描いてもらったポスターを地域に貼り協力してもらえるようお知らせしている。 わんパトを知ってもらうため活動内容や、メンバーの愛犬の写真入り広報誌を小学校、町会にご協力いただき地域に2000部配布している。
補助事業に要した経費 100,510円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☒ その他（ 給田小学校の授業協力で児童との交流の輪が広がった ）	

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

1年生の児童と犬たちが触れ合う授業協力の成果として子ども達からの声掛けが増え。メンバーと子どもたちの距離が近くなり不審者防止の抑止力になった。今年度はわんわんパトロール便りを2回発行し活動を広く周知してもらいメンバーを増やした。給田小を中心とした活動を行っているので今年度も120匹のメンバーに協力してもらうことが出来た。成城警察がボランティア保険に入ってくれるなど警察との連携も続いているためメンバーも安心して活動に参加できた。

令和 6 年度 実績報告書

No.130 団体名 給田町会	事業名称 第74回給田町会運動会
補助金使用額 220, 125円	内 容 町内にある給田小学校(給田4丁目)と烏山小学校(給田1丁目＝本年開催)の児童とその保護者を中心に、地域住民、地域の高齢者ととともに毎年スポーツの日(本年は10月12日(月))に実施する。給田青穂会、給田婦人会、給田福寿会の協力のもと、給田西住宅自治会、給田南住宅自治会にも協力依頼をして、地域交流を促進する。また町会未加入者へも町会掲示板等にてポスター掲示、給田小学校、烏山小学校児童にはチラシを配布して参加を呼びかける。
補助事業に要した経費 823, 636円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☐ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他 ()	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 給田青穂会の協力無しでは、運動会の運営、進行に支障が出てしまう。給田婦人会、給田福寿会の協力も不可欠と思います。また、今回参加できなかった、給田西住宅、給田南住宅の協力も今後お願いしていかなければと思います。

令和 6 年度 実績報告書

No.131 団体名 桐の会	事業名称 箏曲に親しむ第48回学校と地域をつなぐ” おこと” の演奏会
補助金使用額 245, 000円	内 容 令和6年12月1日(日)烏山区民会館ホールにて「箏曲に親しむ・学校と地域をつなぐ” おこと” の演奏会を開催する。夏休みの箏体験をきっかけに始めたばかりの小学生と活動が続けて来た先輩の中高生による合奏を幕開けに世田谷の民話を引き語り、トッププロの尺八本曲の演奏、後半は中学生のアコースティックギター、体育大学新体操部の素晴らしい演技、地域のPTAコーラス、詠吟、ウクレレ、ホルンの友情出演ありでフィナーレは「烏山地域キャラクターからぴよんのうた」を会場の飛び入り参加者と小学生のダンスで盛り上げて一人でも多くの方に来場いただく努力を続けます。
補助事業に要した経費 516, 446円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 待望のゲスト、日本女子体育大学新体操部が同校の「新体操演技発表会」の大舞台と同校で行われる「新人戦」が当方の本番・ホールリサイタルとバッチング状態と云う想定外の事態に直面しましたが、大学上層部を始めとする皆様の協力のお陰で新体操部からソングリーディング部へスムーズに移行。予定通りのプログラムで進行する事が出来た。新しくハンドベラーズの参加もいただく事が出来た。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 学校関係者、、烏山区民センター運営協議会をはじめとする地域の皆様のご支援、ご協力をいただき笑顔のフィナーレで、次回も、との言葉を頂く事が出来た。準備段階からのご配慮と取り組む熱意の高まりにきずなの強さを感じた。

令和 6 年度 実績報告書

No.132 団体名 地域のきずな実行委員会	事業名称 つなげよう地域の力！広げよう子どもの体験
補助金使用額 232, 045円	内 容 地域の2小学校の特性をいかし、コロナ感染に留意しながら実施する。給田小学校は2月上旬、古民家前で おうちで節分の持ち帰りセットの配布対象は小学生と幼稚園児と幼児。家で家族と伝統行事を行う。烏山北小学校は3月上旬ひな人形を飾り、行程で跳んでとんで元気にひなまつりの行事で体力アップを目指す。講師が縄跳びの効果、歴史、世界における現状と誰でもどこでも何時でも一人でもどうぐがなくてもできるという利便性のなどのおはなしをする。その後教育専攻の講師3人が実技のデモンストレーションを行いそして上達のコツを解説。全員でエアー縄跳びの実技、お持ち帰りは全員手作りの折り紙で折ったひな人形飾りとひなあれ等。対称は小学生と幼児。
補助事業に要した経費 284, 143円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 主催行事は寒さの中、予定通り開催し、いつも以上の方が手伝いに参加してくださり、当日も盛大に出来ました。寒さで体調をくずされた人が多く、困ったなと思っておりましたが商店街のPR放送などで手伝ってくださる人や団体が増え、感謝しています。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☒ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☐ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 烏山駅前通り商店振興組合と今まではスタンプサービスの協力だけであつたがあらたに事業 PR の放送をしていただき、新たな地域の人・子供・大人がつながることが出来た。烏山図書館と今回あらたにつながり、図書館での PR や協力そして当日も参加協力していただき、広いつながりが出来た。

令和 6 年度 実績報告書

No.133 団体名 チーム烏山音楽事業部	事業名称 能登半島地震復興支援まちづくりミュージックホリデー
補助金使用額 242, 434円	内 容 町会や諸団体と音楽を通じたイベントを企画、実施する中でコミュニティの醸成やまちづくりを実践していく。今回は特に能登半島地震被災地羽咋志賀町の支援と交流を通じて、地域の魅力アップや自治活動の充実を図る。
補助事業に要した経費 244, 934円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 能登半島地震復興支援に携わっている方のお話から現地の状況を詳細に聞き区民へ復興の現状を知らせ、できるだけ支援を呼びかけ、募金も集めた。
他団体との協力・連携の方法 ☐ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☐ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☒ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 自治会員の参加もあり、能登半島地震復興支援をおまつり支援とかたちで啓発できたことで、その結果まちづくりや地域活動に疎遠な人たちを巻き込む事ができ自治会への帰属意識が高まった。

令和6年度 実績報告書

No.135 団体名 ユニバーサルデザインスタンプラリー実行委員会	事業名称 ユニバーサルデザインスタンプラリー
補助金使用額 184,365円	内 容 令和6年10月烏山区民センターの広場、集会室、会議室等でユニバーサルデザインに関するイベントを開催する。ユニバーサルデザイン(人にやさしい)とはどういうことかについて、地域の小学生を中心にどなたでも気軽に楽しく体験でき、すぐに生かせるイベントにする。 (点字・盲導犬・低床バス・車いす・ボッチャ・手話、アイマスク等の体験ブース・デフリンピック・「25年の歩み」展等々のテーマ別のブースを設営する。) 今年は当実行委員会の結成のきっかけとなった烏山ネット・わあ〜く・ショップが結成25周年を迎えることもあり、ユニバーサルデザインに基づく街づくりを行政と住民で考え、実践してきた烏山のUDについての展示も展開する。
補助事業に要した経費 186,585円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 ・9つのブースを設営し、近隣の生徒さん、学生さんも加わったスタッフで、円滑に開催・運営することが出来た。 ・地域の方々や親子、150名ほどの来訪があり、ユニバーサルデザインについて楽しく体験していただけた。
他団体との協力・連携の方法 ☒ 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ☒ 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ☒ 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ☐ 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ☐ 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ☒ 町会・自治会の回覧板絵、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ☐ その他（ ）	
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ブースの運営に関わった方々は行政・区民・学校・商店街・国の行政機関等々、多岐に渡り、互いになり知り合い協力することができたため。